

第5回海老名市公共施設再編計画策定委員会次第

日 時：平成28年2月25日（木）

午後2時から

場 所：海老名市役所 政策審議室

1. 開 会

2. 議 題

(1) 白書における人口推計と海老名市人口ビジョンについて

(2) 再編計画の構成案について

(3) 各種施設データについて

3. その他

4. 閉 会

資料1

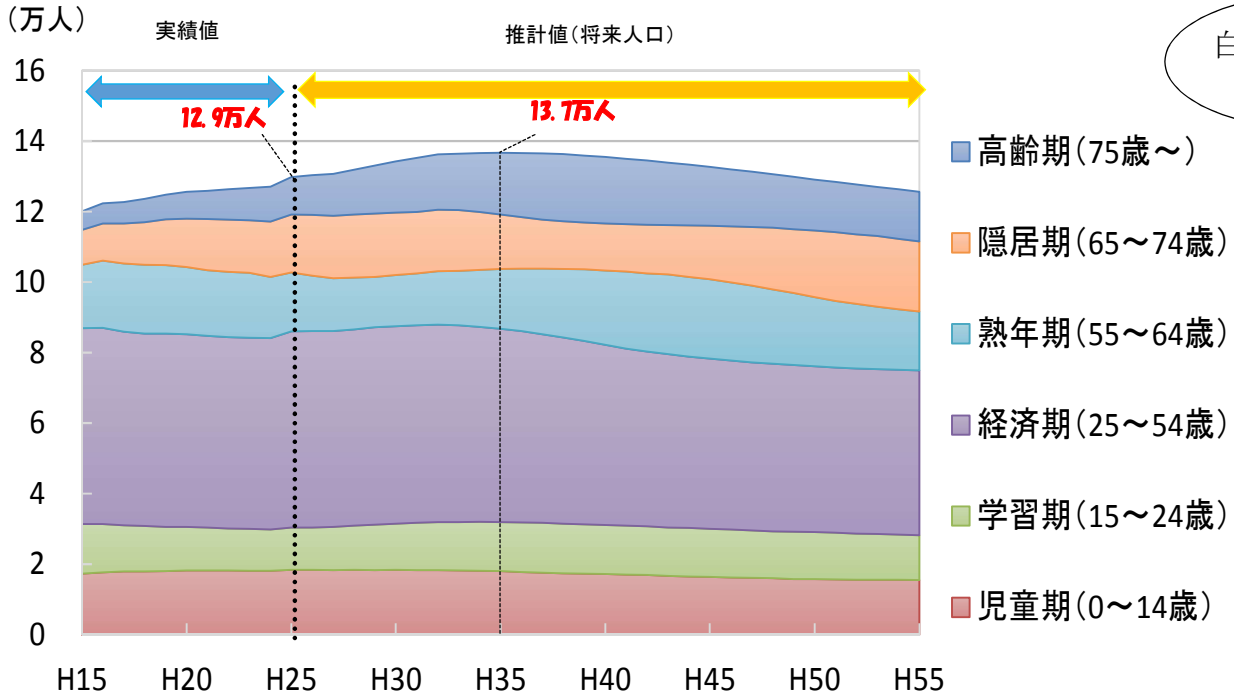
●公共施設白書（人口推計）●

白書における人口推計では

【対象期間：平成25（2013）年度から平成55（2043）年度の30年間】



1-1. 人口動向



白書掲載ページ
1-11

年齢階層		H15年	H20年	H25年	H30年	H35年	H40年	H45年	H50年	H55年	H25～55年の人口増減率①	H25～55年の人口増減率②
年少人口	児童期(0～14歳)	17,257	18,192	18,411	18,355	17,956	17,211	16,363	15,755	15,529	-16%	-16%
	学習期(15～24歳)	14,156	12,384	11,941	13,143	13,958	13,898	13,657	13,342	12,697	6%	
生産年齢人口	経済期(25～54歳)	55,475	54,672	55,698	56,023	54,940	51,056	48,333	47,039	46,738	-16%	-10%
	熟年期(55～64歳)	17,996	19,018	16,617	14,517	16,897	21,180	22,435	19,595	16,742	1%	
老年人口	隠居期(65～74歳)	9,953	13,790	16,494	17,637	15,481	13,294	15,216	18,908	19,755	20%	25%
	高齢期(75歳～)	5,309	7,503	10,622	14,542	17,524	18,838	16,665	14,509	14,166	33%	
総数(人)		120,146	125,559	129,783	134,217	136,756	135,477	132,669	129,148	125,627	-3%	-3%



1-2. 人口動向

白書掲載ページ
1-11

全体推移

- ・本市の住民基本台帳人口は、平成25年10月1日現在で約12.9万人であり、今後10年間は増加を続ける予定。
- ・10年後の平成35年に約13.7万人でピークを迎え、20年後の平成45年には約12.9万人となり、30年後の平成55年度には約12.6万人になる見込み。

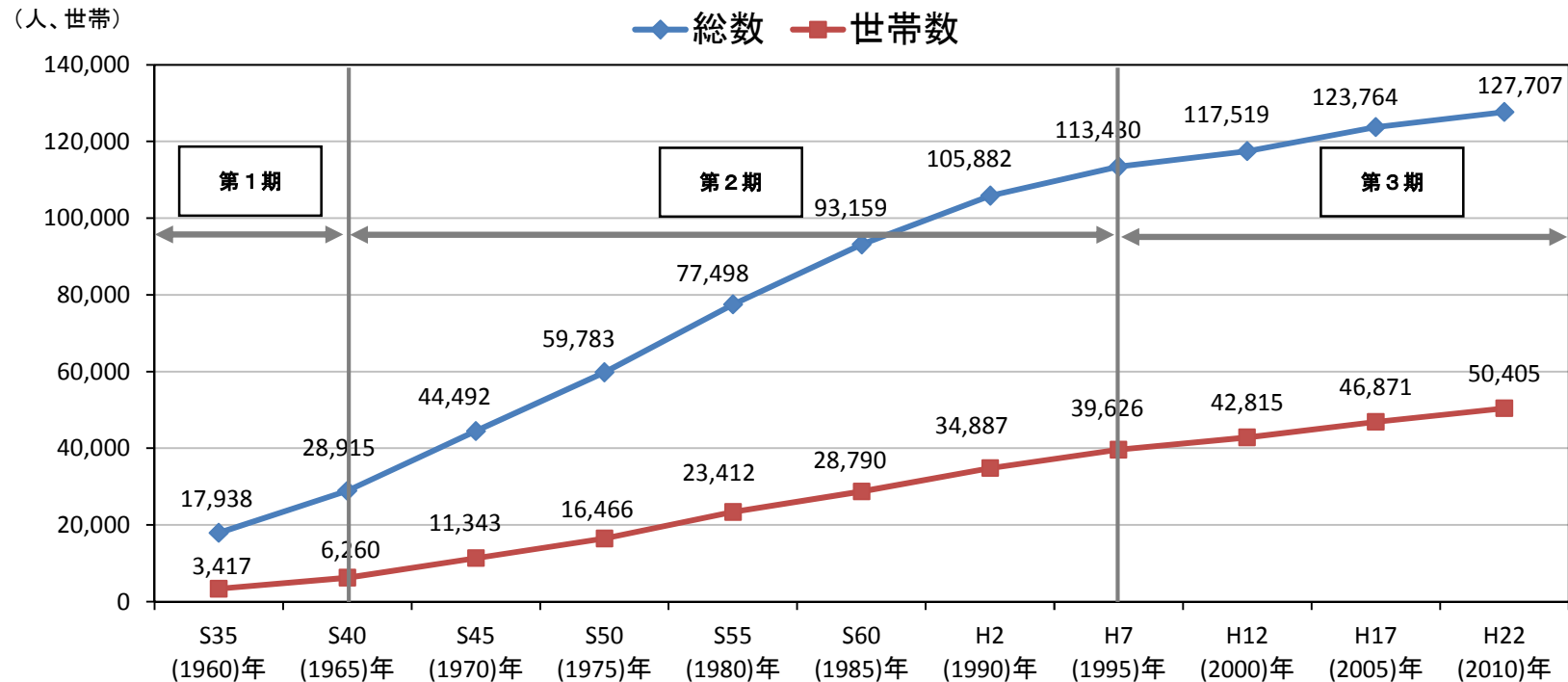
●海老名市人口ビジョン●

海老名市人口ビジョンとは

【対象期間：平成27（2015）年度から平成72（2060）年度の45年間】

- ・本市における人口の現状を分析し、人口に関する市民の認識を共有し、今後、目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するものです。また、「海老名市かがやき持続総合戦略」における効果的な施策立案をする上での基礎資料として位置付けられます。

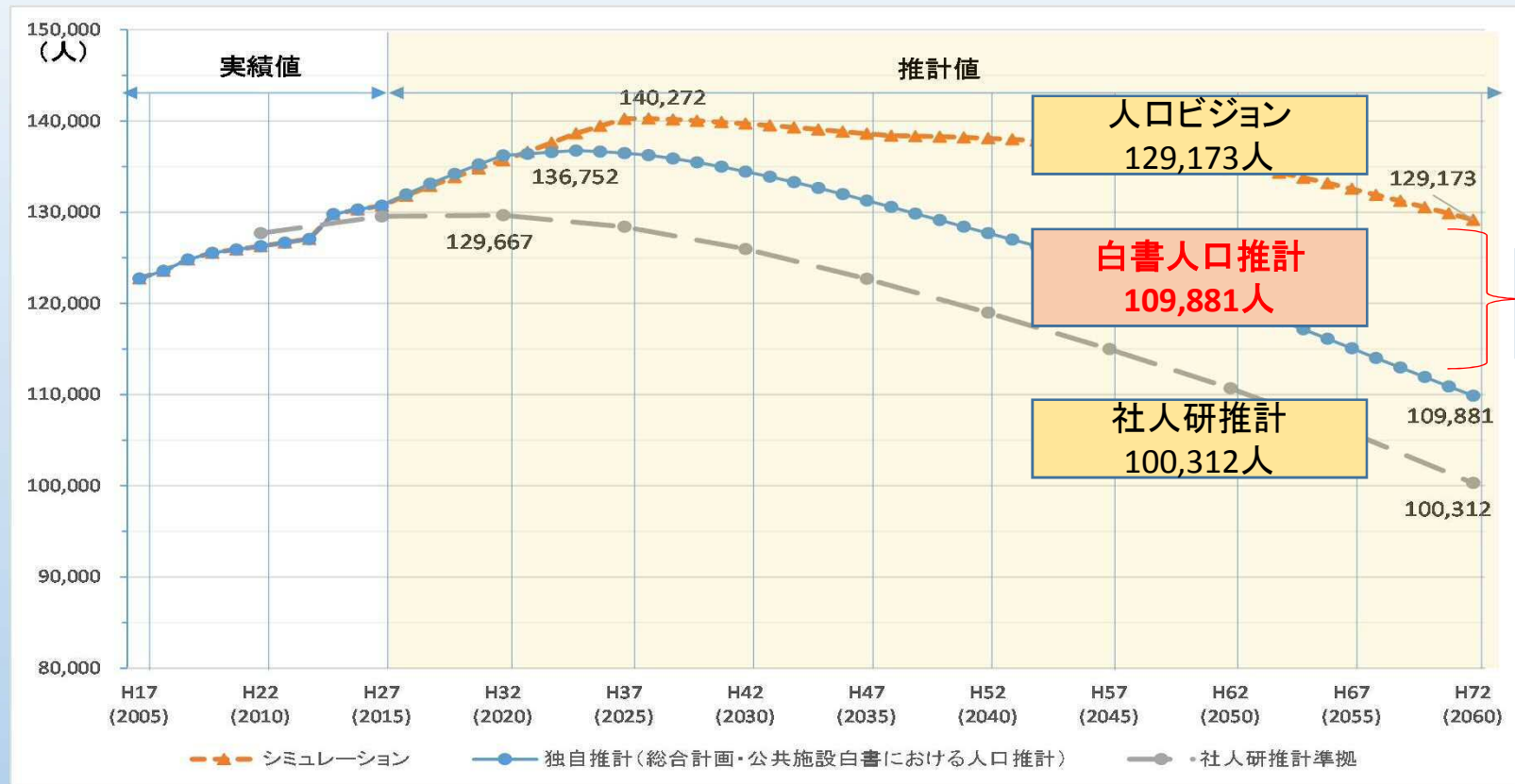
人口・世帯数の推移



出典：国勢調査

- 本市の人口を国勢調査によりみると、平成22（2010）年は127,707人であり、近年、微増傾向で推移しています。長期の動向をみると、昭和40（1965）年までは微増傾向で推移しており、それ以降は平成7（1995）年の113,430人まで急カーブを描いて増加しました。

人口の将来展望



- 本市においては、現在、人口は増加傾向にあります。現在のかがやきを持続するため、転入（今後5年間で3万人を目標）を促進するとともに、出生数を向上させる施策を実施することで、将来の人口減少を抑制し、平成72（2060）年時点で人口129,000人を維持することを本市の人口に係る将来目標とします。

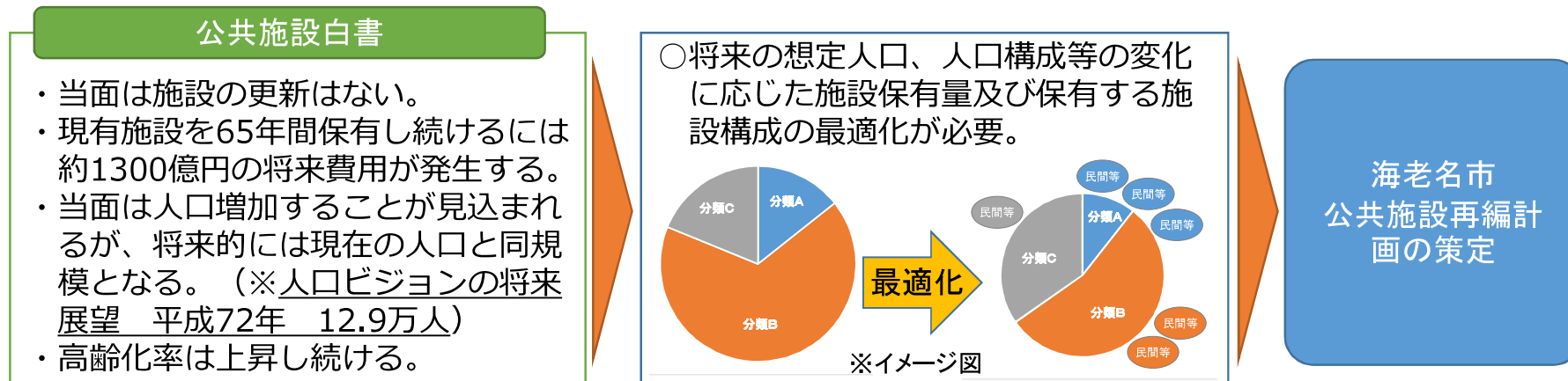
資料2

海老名市 公共施設再編計画 位置付け

2016年2月25日版

再編計画は、公共施設白書で示された次の2つを実現することを目的に策定。

- ① 現有施設を保有する場合に必要な将来費用(65年間で約1300億円)への対応
- ② 社会状況・市民ニーズ等の変化に応じた公共施設の最適な配置・効率的な運営



海老名市公共施設再編計画

計画期間	対象	コンテンツ
<ul style="list-style-type: none"> ● 平成29年4月～ ※策定 (H29.3) 翌年からの適用 ● 計画期間：60年or40年 ※施設分類ごとに 短期(5年)、中期(10年)、長期(60年or40年)の具体的取組み事項を定め、進行管理を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全市民利用施設 ※ 118施設の建物等 (新規施設にも適用) ● インフラについては、基本方針 (再編・長寿命化) を記載 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設サービスのあり方 ・ 公共施設保有の考え方 ・ インフラの考え方 等 ● 進行管理について ● 施設分類ごとの方向性 等

目標(たたき台)

再編計画の目標は、公共施設の保有に係る将来費用への対応、及び、社会状況や市民ニーズの変化に応じた公共施設の最適な配置・効率的な運営の実現

基本方針(たたき台)

(1) 公共施設サービスのあり方

- ① 公共施設サービスは、行政だけではなく民間も含め、最適なサービス提供主体を選択し、行政が直接提供するサービスの選択と集中を図る。

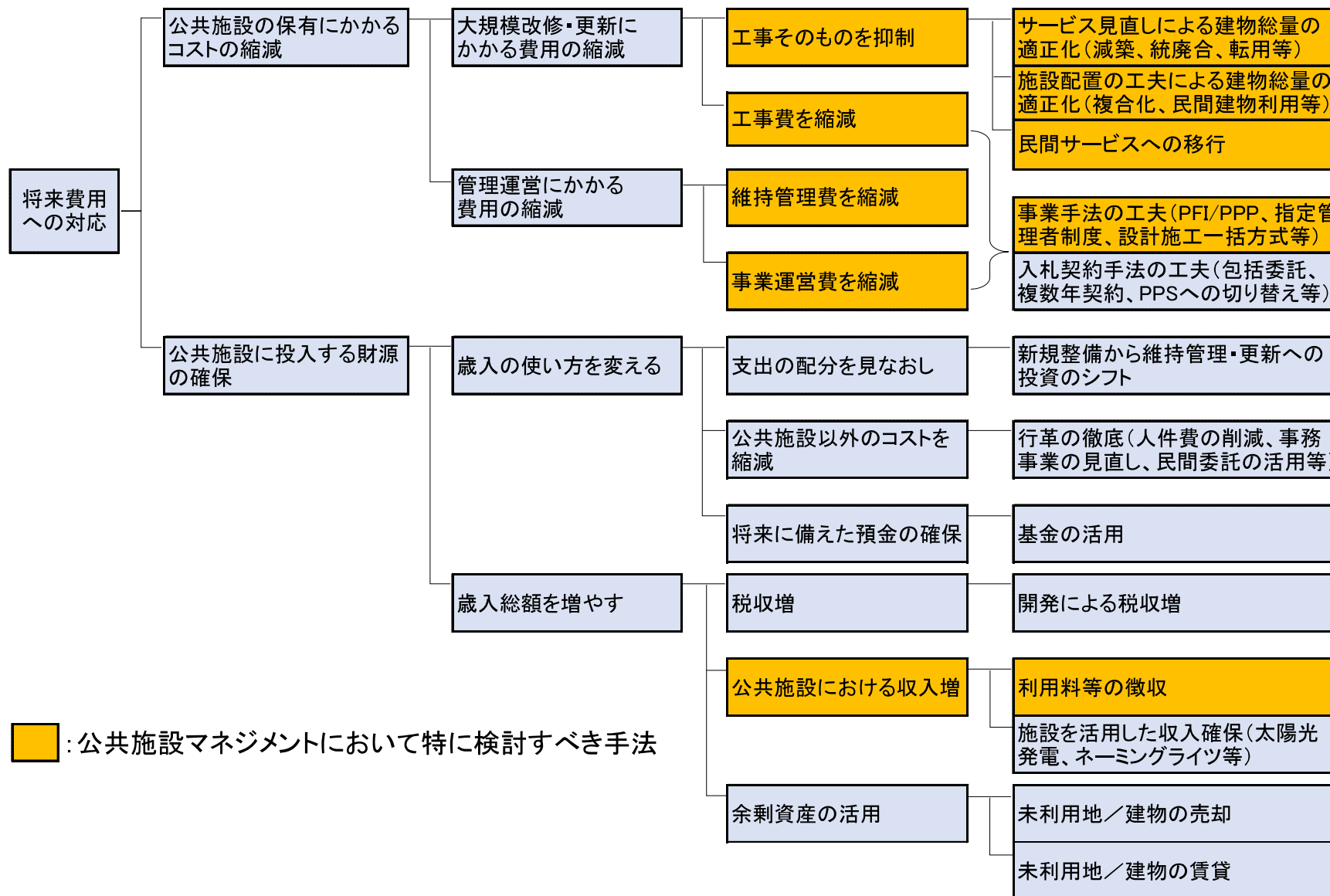
(2) 公共施設保有の考え方

- ① 新規施設の整備は、市民の安全確保及び十分に精査したニーズに対応する場合に限定し、可能な限り抑制する。新規施設を整備する場合は、既存施設の転用や統廃合、複合化・多目的利用等を検討することとし、公共施設の保有総量を、これまでと同程度に抑える。
- ② 公共施設のデータを整理し、有効活用されていない施設や、設置当時の目的や役割を終えた施設は、大規模改修や更新時期が到来する前に今後の方向性を検討する。

(3) 対応方策

- ① 公共施設で発生するコストの縮減
- ② 公共施設に投入する財源の確保
- ③ 「施設分類ごとの方向性」を検討し、大規模改修や更新のタイミングで施設量及び施設構成の最適化

将来費用への対応に向けた方策イメージ



施設分類ごとの方向性について

- 当面更新時期を迎える施設はないが、個別施設の統廃合の具体検討は、更新時期が到来する20～30年後の社会情勢を踏まえて検討することが必要であり、人口が増加局面にある現時点で検討する必要性は低い。長期的には、将来の人口及び人口構成に合った施設構成とすることが必要である。
- このため、施設分類ごとに、今後の方向性(短期・中期・長期)を示し、将来、円滑に公共施設の統廃合や複合化、多目的利用等を進める土台をつくる。

施設分類ごとの方向性(コミュニティセンターを例にした記述イメージ)

方向性(総括)

- ・ 現状では、市民ニーズが高く、稼働率も一定程度あることから、当面は現状の施設を維持します。
- ・ 将来的には、コミュニティセンターの機能は必要ですが、単独の施設として維持することは難しいため、建替え時には他の施設との複合化などの整備手法により整備します。また、建替え時には、将来の人口及び人口構成に合わせて施設面積を検討します。

短期:5年

- ・ 現在は使用料を徴収していませんが、受益者が特定できる施設であり、H33年までに使用料及び減免制度を定めます。
- ・ 稼働率が30%を切る場合には、更新前に他施設との統合を検討します。

中期:10年

- ・ 大規模改修の計画を策定します。
- ・ 稼働率が30%を切る場合には、更新前に他施設との統合を検討します。

長期:60年or40年

- ・ 市の公共施設保有量及び保有施設の最適化のため、他の公共施設との複合化などを踏まえた更新等に関する計画を策定し、計画的に更新を進めます。

◎施設分類別の概況

- ・施設面積、将来費用…網掛けをした施設面積(構成比)の上位9分類の合計で全体の80%超を占めており、施設面積の削減により将来費用の縮減を図る場合、これらの施設分類を対象にすることが効果的と考えられる。
- ・経過年数…30年以上経過した建物が面積全体の半分を占めるが、その大半を占める小中学校については、ほとんどの建物で老朽化対策工事又はリニューアル工事が完了している。経過年数が多い他の建物もリニューアル工事を行っているものが多く、現時点で建物の老朽化は緊急性の高い問題とはなっていない。

大分類	中分類	施設名	所管課	施設・サービスの概要	施設面積		将来費用(億円)		施設分類別・経過年数別の面積構成比				
					施設面積	構成比	改修費	更新費	40年以上	30~39年	20~29年	20年未満	
行政系施設	庁舎	市庁舎	施設管理課	本館のほか、西棟も事務所として利用されている。	15,784 m ²	6.7%	30.1	63.1	—	—	100%	—	—
		連絡所	窓口サービス課	駅または駅前のテナントビル内に賃借で設置。	67 m ²	0.0%	—	—	—	—	—	—	—
消防施設	消防署	4施設(消防庁舎、2分署、1出張所)	消防総務課	消防指令センターは海老名市・座間市・綾瀬市の共同で運用。	5,076 m ²	2.1%	14.6	20.3	—	15%	47%	39%	—
		消防団器具置場	15施設	警防課	消防ポンプ等の器具置場と団員の待機・休憩スペースで構成。	1,234 m ²	0.5%	3.1	4.9	—	—	39%	61%
		その他消防施設	コミュニティ防災センター	消防総務課	南分署内に設置。分署の会議やトレーニングにも利用。	83 m ²	0.0%	0.4	0.3	—	100%	—	—
学校教育施設	小学校	13校(18~24学級が10校)	教育総務課	小学校の他3校の学級数は14,16,30。中学校の1校は17学級。	73,869 m ²	31.3%	175.4	239.4	32%	51%	4%	13%	
		中学校		6校(18~24学級が5校)	全19校の体育館のほか、7校で特別教室等の一部を地域開放。	41,193 m ²	17.4%	105.2	135.9	33%	58%	9%	—
		その他		食の創造館	学校教育課	給食センター、貸室サービス(会議室1、調理実習室1)	3,484 m ²	1.5%	5.9	11.5	—	—	—
地域コミュニティ施設	地域活動施設	ピナレッジ(市民活動センター)	市民活動推進課	貸室サービス(ホール1、会議室10、和室1、実習室2)	2,960 m ²	1.3%	7.4	11.8	—	—	—	100%	
		ピナスポ(市民活動センター)		貸室サービス(体育室2、多目的室1、プール、トレーニング)	5,009 m ²	2.1%	12.5	20.0	—	—	—	100%	
		コミュニティセンター(10施設)	地域自治推進課	貸室サービス(軽スポーツ室、会議室、和室、実習室。各館5,6室)	12,562 m ²	5.3%	25.2	50.2	—	—	90%	10%	
		文化センター(2施設)		貸室サービス(軽スポーツ室、会議室、和室、実習室。3室、5室)	1,302 m ²	0.6%	2.4	5.2	—	—	54%	46%	
教育施設	文化財施設	4施設	教育総務課	郷土資料館、歴史資料収蔵館、文化財収蔵庫、文庫蔵(歴史資料)	1,111 m ²	0.5%	3.0	4.4	33%	—	29%	38%	
		図書館	教育指導課	中央図書館、有馬図書館	4,562 m ²	1.9%	15.8	18.2	—	80%	20%	—	
		その他		教育支援センター	子どもの教育に関する相談や指導、各種支援事業を実施。	433 m ²	0.2%	1.1	1.7	—	—	—	100%
文化スポーツ	スポーツ施設	運動公園(4施設)	文化スポーツ課	海老名運動公園(総合体育館、プール、野球場、陸上競技場)、北部公園(体育館、プール)、中野公園(人工芝G)、中野多目的広場	20,154 m ²	8.5%	43.3	72.6	—	11%	66%	23%	
		庭球場(2施設)		今里庭球場:人工芝3面、下今泉庭球場:クレー4面。	145 m ²	0.1%	0.4	0.5	—	42%	—	58%	
	文化施設	文化会館		大ホール、小ホール、120サロンの他、練習室・会議室等25室。	9,200 m ²	3.9%	28.8	36.8	—	63%	37%	—	
		市民ギャラリー		第1展示室、第2展示室。	700 m ²	0.3%	1.8	2.8	—	—	100%	—	
保健医療福祉施設	保健医療施設	医療センター	健康づくり課	急患診療所。医師会運営の検査センター、訪問介護ステーション等も設置。	1,399 m ²	0.6%	2.1	5.0	—	—	100%	—	
		保健相談センター		各種相談対応、健康診査、予防接種等を実施。	3,249 m ²	1.4%	6.5	11.7	—	—	100%	—	
	子育て支援施設	保育園(6施設)	子育て支援課	民間:14施設。H28年度の定員:市立650人、私立1,130人。	3,263 m ²	1.4%	6.3	10.8	20%	13%	43%	24%	
		子育て支援センター		子どもの遊び場や、親同士の交流の場を提供。	145 m ²	0.1%	0.2	0.5	—	—	100%	—	
	障害者福祉施設	障害者デイサービスセンター(3施設)	わかば学園(わかば会館内) わかばケアセンター(わかば会館内) わかば会館	障がい福祉課	自立生活の支援施設。施設ごとに対象とする障害の種類が異なる。	1,693 m ²	0.7%	3.4	6.1	—	—	34%	66%
					障がいのある未就学の子どもの生活基本訓練を行う施設。	902 m ²	0.4%	1.8	3.2	—	—	100%	—
					身体障がい者や知的障がい者の自立生活を支援する施設。	1,010 m ²	0.4%	2.0	3.6	—	—	100%	—
高齢者福祉施設	国分寺台ケアセンター	総合福祉会館 高齢者生きがい会館	高齢介護課	貸室サービス(軽スポーツ室1、会議室4、実習室1)※福祉団体向け	1,218 m ²	0.5%	2.4	4.4	—	—	100%	—	
				デイサービスの提供。	642 m ²	0.3%	1.3	2.3	—	—	—	100%	
				貸室サービス(会議室7、和室2、実習室2)※高齢者団体向け	1,677 m ²	0.7%	4.9	6.0	—	100%	—	—	
産業振興施設	農業振興施設	ライスセンター	農政課	貸室サービス(会議室2)。シルバー人材センター事務所。	515 m ²	0.2%	1.0	1.9	—	—	—	100%	
		南部農業拠点施設		米の乾燥施設、農器具倉庫。※市保有の土地・建物を賃貸契約。	282 m ²	0.1%	0.6	1.0	—	—	100%	—	
環境施設	環境施設	リサイクルプラザ	資源対策課	粗大ごみの再生、再生品の販売を実施。	539 m ²	0.2%	1.1	1.9	—	—	—	100%	
		資源化センター		回収した資源物の中間処理を実施。	1,092 m ²	0.5%	2.2	3.9	—	—	—	100%	
		美化センター		可燃ごみ収集・運搬の車両基地。し尿の収集・運搬・処理。	1,393 m ²	0.6%	4.1	5.0	—	48%	—	52%	
市営住宅	市営住宅	市営住宅・直営(3施設)	住宅公園課	全65戸(8戸、22戸、35戸)	4,184 m ²	1.8%	5.5	11.7	—	—	62%	38%	
		市営住宅・借上げ(4施設)		全52戸(18戸、12戸、10戸、12戸)	3,187 m ²	1.3%	—	—	—	—	—	—	
その他施設	駐車場	海老名中央公園地下駐車場	駅周辺対策課	収容台数197台。	9,687 m ²	4.1%	19.4	34.9	—	—	39%	61%	
		自転車等置場		4駅:11施設	建物11施設のみ。他は、敷地に区画線や駐輪ラックのみ。	204 m ²	0.1%	0.4	0.7	—	—	—	100%
		大型防災備蓄倉庫		3施設	避難者想定数44,760人。食糧:3食2日分、毛布:約80%を備蓄。	848 m ²	0.4%	1.7	3.1	—	—	—	100%
		その他		さがみ野安全安心ステーション	地域案内、防犯相談対応、地域巡回活動の拠点。	22 m ²	0.0%	0.0	0.1	—	—	—	100%
				消費生活センター	消費生活に関する相談対応。市庁舎内に設置。	46 m ²	0.0%	0.1	0.2	—	—	—	100%
					236,363 m ²	100%	544	819	16%	33%	33%	17%	

■視点1:施設の利用状況、ニーズ/対象者の動向

…利用が少ない、ニーズの減少が見込まれるなどマイナスの影響が見込まれる事項。

…利用が多い、今後もニーズが見込まれるなどプラスの影響が見込まれる事項。

既存の施設を、現状のまま保有し続けるのではなく
利用・ニーズの変動に合わせて、数や規模の見直しを図るべき

大分類	中分類	施設名	所管課	利用・ニーズについて特筆すべき事項(※該当する施設のみ)	補足・備考
行政系施設	庁舎	市庁舎	施設管理課	—	執務スペースや会議室の不足が指摘されている。
	連絡所	3施設(さがみ野、かしわ台、海老名)	窓口サービス課	平均利用人数:15~18人/日	—
消防施設	消防署	4施設(消防庁舎、2分署、1出張所)	消防総務課	利用の多少を問う施設ではない。	—
	消防団器具置場	15施設	警防課	(同上)	1つの団が団員不足で活動休止中。
	その他消防施設	コミュニティ防災センター	消防総務課	貸室の利用件数:月に4、5件程度	消防署の会議室と共用で、利用調整やセキュリティの面で問題あり。
学校教育施設	小学校	13校(18~24学級が10校)	教育総務課	児童生徒の総数は横ばいだが、増減に地域差あり(増加:海西地域。減少:大谷地域、東柏ヶ谷地域。)	一人あたり施設面積にも差あり。児童数が多い海老名小学校では体育館の利用コマ数が不足する状況もでてきている。
	中学校	6校(18~24学級が5校)			
	その他	食の創造館			
地域コミュニティ施設	地域活動施設	ピナレッジ(市民活動センター) ピナスポ(市民活動センター) コミュニティセンター(10施設) 文化センター(2施設)	市民活動推進課 地域自治推進課	貸室の稼働率は30%未満が多い。 多目的室(体育室)は稼働率が高い。 貸室の稼働率は50%未満が多く、実習室は利用されていない。	市民活動センター全体としてみると、スポーツ利用は多いが会議室の利用は少なく、基本的な傾向はコミュニティセンター・文化センターと同様。 稼働率が高いのは、軽スポーツにも使えるレク室等と音楽室。
教育施設	文化財施設	4施設	教育総務課	歴史資料収蔵館:3.1人/日。温故館(郷土資料館):24.9人/日。	展示だけではなく、文化財を保存・管理する機能も求められる。
	図書館	2施設	教育指導課	中央図書館と有馬図書館の利用者の差が大きい。	中央図書館のリニューアル後、貸出者数が大幅に増加。
	その他	教育支援センター		—	—
文化スポーツ	スポーツ施設	運動公園(4施設) 庭球場(2施設)	文化スポーツ課	稼働率は、体育室等で40~60%程度、会議室は30%未満。 稼働率は、今里(人工芝)で約7割、下今泉(クレー)で約3割。	海老名運動公園と北部公園にも庭球場(人工芝)9面がある。 週末はほぼ100%稼働。
	文化施設	文化会館 市民ギャラリー		大ホールの稼働率:82%。他ホール含む利用者:3,037人/週 第1展示室の稼働率:41%。全来場者数:560人/週	利用者は、大ホール、小ホール、120サロンの合計。 全来場者は、第1、第2展示室の合計。
保健医療福祉施設	保健医療施設	医療センター 保健相談センター	健康づくり課	平日夜:4.7人/日、休日昼:29.0人/日、休日夜:8.5人/日。 平均利用者数:172人/日。	急患診療所の利用者。 月の3分の2ぐらいは、市が実施する各種検診や予防接種で利用。
	子育て支援施設	保育園(6施設) 子育て支援センター	子育て支援課	民間も含め定員を拡大(H26:1,510人⇒H28:1,780人) 平均利用人数:108人/日	将来のニーズ減少には、公立園の定員調整や統廃合で対応する方針。
	障害者福祉施設	障害者デイサービスセンター(3施設) わかば学園(わかば会館内) わかばケアセンター(わかば会館内) わかば会館	障がい福祉課	認定対象の障害や難病が増やえているため、対象者は増加傾向。 全室、毎日1件以上の利用がある(時間別のデータなし)。	障害の種類で施設を分けているため、稼働率に差がある。 福祉関係の登録団体に利用を限定。
	高齢者福祉施設	国分寺台ケアセンター 総合福祉会館 高齢者生きがい会館	高齢介護課	平均利用者:15人/日(定員:25人、登録者:約65人) 平均利用者:160人/日[会議室数(7室)で割ると1室23人/日] 平均利用者:16人/日。[全2室、1室8人/日]	福祉関係の登録団体に利用を限定。利用者数は増加傾向。 1階はシルバー人材センターの事務所として利用。
産業振興施設	農業振興施設	ライスセンター 南部農業拠点施設	農政課	(貸出施設で利用は把握していない) 乾燥機の利用件数:46件/年。乾燥機(4基)の稼働率:50%。	土地・建物を市が保有し、機械の設置及び運営は営農組合が実施。 乾燥機はコメの収穫期(約1か月)のみ稼働。
環境施設	環境施設	リサイクルプラザ 資源化センター 美化センター	資源対策課	平均利用者:53人/日。 年間稼働日数:311日。ペットボトルの処理が飽和状態。 年間稼働日数:361日。	— — —
市営住宅	市営住宅	市営住宅・直営(3施設) 市営住宅・借上げ(4施設)	住宅公園課	退去による一時的な空き室はあるが、ほぼ満室の状況。	空き室が出て、募集戸数を上回る応募があり抽選になる。
その他施設	駐車場	海老名中央公園地下駐車場	駅周辺対策課	平均利用台数:488台/日。平均2.5回転(収容台数197台)。 契約台数の合計:44,132台(※海老名駅周辺の駐輪場のみ)	— 建物は1施設のみ。他は、平面に区画線や自転車ラックのみ。
	自転車等置場	4駅・11施設	危機管理課	—	—
	大型防災備蓄倉庫	3施設	—	—	—
	その他	さがみ野安全安心ステーション 消費生活センター	地域自治推進課	来所者数は年々増加。道案内の対応が多い。 ここ2年の来所者数は増加。	— 高齢化の進行に伴い、消費トラブルも増加すると推測される。

■視点2:他主体の施設やサービスで代替できる可能性

…行政以外の主体が提供するサービスにより、既存の施設におけるサービスを代替できる可能性がある施設。

…行政によるサービス提供が求められる理由がある施設。

網掛けなし …民間等による代替の可能性もあるが、議論の余地が大きい施設。

他主体の施設やサービスで代替できれば
市民にとってのサービス水準を維持しながら
公共施設の数や規模を削減することが可能

大分類	中分類	施設名	所管課	他主体の施設やサービスで代替できる可能性に関する考察(※該当する施設のみ)
行政系施設	庁舎	市庁舎	施設管理課	—
	連絡所	3施設(さがみ野,かしわ台,海老名)	窓口サービス課	証明書発行は、市が設置する自動発行機で代替可能。民間のコンビニ等でも実施事例あり。
消防施設	消防署	4施設(消防庁舎、2分署、1出張所)	消防総務課	消防指令本部は広域化済み。周辺自治体と消防組合を設置して消防署を再配置することは考えられる。
	消防団器具置場	15施設	警防課	—
	その他消防施設	コミュニティ防災センター	消防総務課	[貸室サービス]会議室は民間施設あり。体操等ができる多目的スペースは民間施設では考えにくい。
学校教育施設	小学校	13校(18~24学級が10校)	教育総務課	法律上、市に義務付けられているのは「義務教育の機会を保障すること」であり、私立の小中学校で代替することは否定されない。但し、学校の公設民営化の議論はあるものの、現時点では具体化していない。
	中学校	6校(18~24学級が5校)		
	その他	食の創造館	学校教育課	大阪市の中学校でデリバリー方式の給食を導入。但し、おかずが冷たい等の理由で食べ残しが多く、生徒アンケートの評価も低い。
地域コミュニティ施設	地域活動施設	ピナレッジ(市民活動センター)	市民活動推進課	[貸室サービス]会議室は民間施設あり。体操等ができる多目的スペースは民間施設では考えにくい。ブル、スポーツジムは民間施設あり。体育館は民間施設では考えにくい。
		ピナスポ(市民活動センター)		
		コミュニティセンター(10施設) 文化センター(2施設)	地域自治推進課	[貸室サービス]会議室は民間施設あり。体操等ができる多目的スペースは民間施設では考えにくい。
教育施設	文化財施設	4施設	教育総務課	—
	図書館	2施設	教育指導課	周辺他市も図書館を保有しており、海老名市民も利用可能。
	その他	教育支援センター		
文化スポーツ	スポーツ施設	運動公園(4施設)	文化スポーツ課	ブル、スポーツジム、テニスコートは民間施設あり。体育館は民間施設では考えにくい。テニスコートは民間施設あり。
		庭球場(2施設)		
	文化施設	文化会館 市民ギャラリー		
保健医療福祉施設	保健医療施設	医療センター 保健相談センター	健康づくり課	在宅当番医制も可能だが、全国的には急患センターが増加傾向にある。
	子育て支援施設	保育園(6施設) 子育て支援センター	子育て支援課	定員は民間園が多い。H28年4月時点で、公立:6園、民間:14園。定員は、公立:650人、民間:1,130人で合計1,780人。民間やNPOによる遊び場や交流スペースの事例あり。
	障害者福祉施設	障害者デイサービスセンター(3施設) わかば学園(わかば会館内) わかばケアセンター(わかば会館内) わかば会館	障がい福祉課	民間の施設もあるが、対応するサービスに偏りがあり、民間と市の施設で役割分担する形になる。 [貸室サービス]会議室は民間施設あり。
	高齢者福祉施設	国分寺台ケアセンター 総合福祉会館 高齢者生きがい会館	高齢介護課	デイサービスは民間事業者によるサービス提供が拡大している [貸室サービス]会議室は民間施設あり。体操等ができる多目的スペースは民間施設では考えにくい。 [貸室サービス]会議室は民間施設あり。体操等ができる多目的スペースは民間施設では考えにくい。
産業振興施設	農業振興施設	ライスセンター 南部農業拠点施設	農政課	農事組合法人でライスセンターを保有・運営している事例あり。
環境施設	環境施設	リサイクルプラザ 資源化センター 美化センター	資源対策課	民間のリサイクルショップあり。 一般廃棄物処理業(収集運搬、処分)の許可業者あり。
市営住宅	市営住宅	市営住宅・直営(3施設) 市営住宅・借上げ(4施設)	住宅公園課	民間賃貸住宅の利用に家賃補助を行っている事例あり。
その他施設	駐車場	海老名中央公園地下駐車場	駅周辺対策課	民間駐車場あり。
	自転車等置場	4駅・11施設		
	大型防災備蓄倉庫	3施設	危機管理課	—
	その他	さがみ野安全安心ステーション 消費生活センター	地域自治推進課	さがみ野駅前交番の設置を県に陳情している。

■視点3:サービス提供方法の適正化

- …適正化に向けた検討の余地がある施設。
- …適正化に向け、現時点で方針等が示されている施設。

同機能の施設が複数ある場合は、統廃合について検討する余地がある

貸室サービスは、施設分類を超えて再編する余地がある

配置の制約が小さければ、建物の更新に代え、既存建物の活用や複合化を検討する余地がある

貸室サービスと駐車場については「使用料等基本方針」において利用者にコスト負担を求める方針を示している

大分類	中分類	施設名	所管課	他施設との集約再編の余地		配置する建物の制約 (貸しビル等利用の可否)	使用料等を見直す余地	
				分類内の統廃合	貸室サービスの提供施設		使用料等のある施設	見直しの余地
行政系施設	庁舎	市庁舎	施設管理課	—	—	—	—	—
	連絡所	3施設(さがみ野、かしわ台、海老名)	窓口サービス課	3施設が同機能	—	可能	—	—
消防施設	消防署	4施設(消防庁舎、2分署、1出張所)	消防総務課	—	北分署	—	無料(北分署)	使用料等基本方針
	消防団器具置場	15施設	警防課	—	—	—	—	—
	その他消防施設	コミュニティ防災センター	消防総務課	—	貸室サービス	—	無料	現時点で方針未定
学校教育施設	小学校	13校(18~24学級が10校)	教育総務課	児童生徒数は減少も、統廃合には至らず、学区見直しで対応できる見込み	体育館、一部教室	—	あり	使用料等基本方針
	中学校	6校(18~24学級が5校)						
	その他	食の創造館	学校教育課	—	貸室サービス	—	あり	使用料等基本方針
地域コミュニティ施設	地域活動施設	ピナレッジ(市民活動センター)	市民活動推進課	—	貸室サービス	一部可能	あり	使用料等基本方針
		ピナスポ(市民活動センター)	—	—	貸室サービス	一部可能	あり	使用料等基本方針
		コミュニティセンター(10施設)	地域自治推進課	—	貸室サービス	一部可能	無料	使用料等基本方針
		文化センター(2施設)		—	貸室サービス	一部可能	無料	使用料等基本方針
教育施設	文化財施設	4施設	教育総務課	各施設の機能が異なる	—	—	—	—
	図書館	2施設	教育指導課	2施設が同機能	—	—	—	—
	その他	教育支援センター		—	可能	—	—	—
文化スポーツ	スポーツ施設	運動公園(4施設)	文化スポーツ課	体育館、プールが2施設で同機能	貸室サービス	—	あり	使用料等基本方針(会議室、駐車場)
		庭球場(2施設)		運動公園を含め4施設が同機能	—	—	あり	—
	文化施設	文化会館	—	貸室サービス	—	あり	使用料等基本方針(会議室等)	
		市民ギャラリー	—	—	—	あり	現時点で方針未定	
保健医療福祉施設	保健医療施設	医療センター	健康づくり課	—	—	可能	あり	医療制度による
		保健相談センター		—	—	可能	—	—
	子育て支援施設	保育園(6施設)	子育て支援課	民間園を存続させ、公立園で需給調整を図る方針	—	—	あり	保育料の設定による
		子育て支援センター		—	可能	—	—	
	障害者福祉施設	障害者サービスセンター(3施設) わかば学園(わかば会館内) わかばケアセンター(わかば会館内) わかば会館	障がい福祉課	各施設の機能が異なる	—	—	あり	国の福祉制度による
—				貸室サービス	可能	あり		
高齢者福祉施設	国分寺台ケアセンター 総合福祉会館 高齢者生きがい会館	高齢介護課	—	—	—	あり	福祉制度による	
			貸室サービス	可能	あり	使用料等基本方針		
			貸室サービス	可能	あり	使用料等基本方針		
産業振興施設	農業振興施設	ライスセンター	農政課	2施設が同機能	—	—	あり	土地建物の賃貸契約 現時点で方針未定
		南部農業拠点施設		—	—	—	あり	
環境施設	環境施設	リサイクルプラザ	資源対策課	—	—	—	—	—
		資源化センター		—	—	—	—	—
		美化センター		—	—	—	—	—
市営住宅	市営住宅	市営住宅・直営(3施設) 市営住宅・借上げ(4施設)	住宅公園課	7施設が同機能	—	—	あり	家賃設定による
		—	—	—	—	—	—	—
その他施設	駐車場	海老名中央公園地下駐車場	駅周辺対策課	—	—	—	あり	使用料等基本方針
	自転車等置場	4駅・11施設		各駅にあることが重要	—	—	一部あり	使用料等基本方針
	大型防災備蓄倉庫	3施設	危機管理課	—	—	—	—	—
	その他	さがみ野安全安心ステーション 消費生活センター	地域自治推進課	—	—	可能	—	—

【分類名】行政系施設

[施設・建物]

NO	施設名	地域	建物ID	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	市庁舎	国分	市庁舎(本館)	15,051	S63年度	27年
2			市庁舎(西棟)	733	S63年度	27年
3	東柏ヶ谷連絡所	東柏ヶ谷	(そうてつローゼンさがみ野店内)	8	-	
4	かしわ台連絡所	北部	(かしわ台駅内)	22	-	
5	海老名駅連絡所	国分	(ピナフロント内)	37	-	
施設面積の合計(m ²)⇒				15,851		

- ・市庁舎(本館)は、市の保有施設の中で施設面積が最大。
- ・連絡所は民間の建物内に設置されている。

[利用状況]

NO	施設名	地域	施設面積(m ²)	利用指標		利用数						利用の傾向			1日あたり利用者数(人/日)	
				指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	5ヵ年平均	増加	なし	減少		
1	市庁舎	国分	15,784	データなし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	東柏ヶ谷連絡所	東柏ヶ谷	8	利用者数	人	4,349	4,154	4,219	4,732	4,318	4,354		↑↓			17.8
3	かしわ台連絡所	北部	22	利用者数	人	3,987	3,797	3,927	4,586	3,843	4,028		↑↓			16.5
4	海老名駅連絡所	国分	37	利用者数	人	-	-	-	-	2,093	2,093	-	-	-	-	15.1

※「1日あたり利用者数」は、「5ヶ年平均の利用数」÷「開所日数:244日」で算出している。

※海老名駅連絡所は、平成26年10月16日からサービスを開始。開所日数は139日で他の連絡所と異なる。

- ・市庁舎では執務スペースや会議室の不足が指摘されている。
- ・連絡所の1日あたりに換算した利用者数は15～18人で限られている。
- ・かしわ台連絡所と海老名駅連絡所では、中央図書館の改装中(H26.12～)に図書の出貸・返却を実施し、証明書の発行など通常サービスを上回る利用があった。(かしわ台:約7,000人、海老名駅:約10,000人)

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費(千円)	事業運営費(千円)	①合計(千円)	②年あたり施設整備相当額(千円)	フルコスト(①+②)(千円)	面積あたり維持管理費(円/m ²)	利用あたりフルコスト(円)
1	市庁舎	147,784	92,978	240,762	97,132	337,894	9,363	-
2	東柏ヶ谷連絡所	504	2,874	3,378	-	3,378	63,000	776
3	かしわ台連絡所	2,400	3,340	5,740	-	5,740	109,091	1,425
4	海老名駅連絡所	-	-	-	-	-	-	-
合計		150,688	99,192	249,881	97,132	347,013	60,485	41,398

※公共施設白書作成時に調査した、H22～H24年度の実績に基づく。

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したものの。

【分類名】消防施設

[施設・建物]

NO	施設名	施設名	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	消防庁舎	大谷	消防庁舎(本館)	2,365	S63年度	27年
2			消防庁舎(増築棟)	533	H22年度	5年
3	消防北分署	北部	消防北分署	1,222	H21年度	6年
4	消防南分署	南部	消防南分署	751	S58年度	32年
5	今里出張所兼今里給油施設	南部	今里出張所兼今里給油施設	205	H24年度	3年
6	消防第1分団	国分	消防第1分団	99	H18年度	9年
7	消防第2分団	大谷	消防第2分団	100	H21年度	6年
8	消防第3分団	海西	消防第3分団	73	H3年度	24年
9	消防第4分団	海西	消防第4分団	69	S63年度	27年
10	消防第5分団	海西	消防第5分団	69	S62年度	28年
11	消防第6分団	海西	消防第6分団	69	平成元年度	26年
12	消防第7分団	北部	消防第7分団	73	H8年度	19年
13	消防第8分団	東柏ヶ谷	消防第8分団	67	H3年度	24年
14	消防第9分団	南部	消防第9分団	69	S63年度	27年
15	消防第10分団	南部	消防第10分団	101	H23年度	4年
16	消防第11分団	南部	消防第11分団	67	S61年度	29年
17	消防第12分団	南部	消防第12分団	77	H16年度	11年
18	消防第13分団	南部	消防第13分団	102	H19年度	8年
19	消防第14分団	南部	消防第14分団	99	H24年度	3年
20	消防第15分団	南部	消防第15分団	100	H21年度	6年
21	コミュニティ防災センター	南部	(消防南分署内)	83	S58年度	32年
施設面積の合計(m ²)⇒				6,393		

- ・「コミュニティ防災センター」は南分署内に設置されている。分署の会議室も兼ねており、会議やトレーニングに利用している。
- ・施設としては位置づけられていないが、北分署内の会議室も地域に開放されている。
- ・消防指令センターについては、海老名市・座間市・綾瀬市の広域組合により共同運用されている。

[利用状況]

- ・消防署および分団器具倉庫は、利用の多少が問われる施設ではない。
- ・コミュニティ防災センター及び北分署の貸室は、地域団体による月数件の利用に留まっている。

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/m ²)	利用あたり フルコスト (円)
1	消防庁舎	8,294	755,219	763,513	17,833	781,347	2,862	-
2	消防北分署	538	136,274	136,812	7,520	144,332	440	-
3	消防南分署	2,428	135,388	137,817	4,624	142,441	3,232	-
4	今里出張所兼今里給油施設	0	3,191	3,191	1,259	4,449	0	-
5	消防第1分団	327	103	430	611	1,041	3,288	-
6	消防第2分団	0	149	149	615	764	0	-
7	消防第3分団	95	144	239	449	688	1,299	-
8	消防第4分団	15	137	152	423	576	218	-
9	消防第5分団	345	142	487	426	912	4,984	-
10	消防第6分団	61	129	189	424	613	881	-
11	消防第7分団	16	98	114	449	563	223	-
12	消防第8分団	22	141	163	412	576	328	-
13	消防第9分団	47	63	110	426	536	680	-
14	消防第10分団	701	150	851	623	1,474	6,930	-
15	消防第11分団	2	137	138	412	551	25	-
16	消防第12分団	16	159	175	474	649	212	-
17	消防第13分団	5	129	134	625	759	49	-
18	消防第14分団	0	107	107	611	718	0	-
19	消防第15分団	78	145	224	614	838	785	-
20	コミュニティ防災センター	0	0	0	512	512	0	-
合計		13,333	1,032,267	1,045,600	41,663	1,087,263	1,247	-

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したものの。

【分類名】学校教育施設

[施設・建物]
 ≪小学校≫

NO	施設名	施設名	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	東柏ヶ谷小学校	東柏ヶ谷	東柏ヶ谷小学校(校舎1)(北棟)	1,016	S49年度	41年
2			東柏ヶ谷小学校(校舎2)(南棟、給食室含む)	4,641	H19年度	8年
3			東柏ヶ谷小学校(屋内運動場・プール)	690	S53年度	37年
4	柏ヶ谷小学校	北部	柏ヶ谷小学校(校舎1)(南棟)	1,632	S39年度	51年
5			柏ヶ谷小学校(校舎2)(北棟1)	1,234	S42年度	48年
6			柏ヶ谷小学校(校舎3)(北棟2)	804	S46年度	44年
7			柏ヶ谷小学校(校舎4)(中棟)	950	H4年度	23年
8			柏ヶ谷小学校(屋内運動場)	803	S48年度	42年
9	上星小学校	北部	上星小学校(校舎1)(1館)	2,398	S45年度	45年
10			上星小学校(校舎2)(2館)	1,754	S49年度	41年
11			上星小学校(校舎3)(3館)	1,662	S55年度	35年
12			上星小学校(屋内運動場)	739	S52年度	38年
13	今泉小学校	北部	今泉小学校(校舎1)(A棟・北側)	1,626	S55年度	35年
14			今泉小学校(校舎2)(B棟・南東側)	3,468	S55年度	35年
15			今泉小学校(校舎3)(C棟・南西側)	1,105	H8年度	19年
16			今泉小学校(屋内運動場)	739	S56年度	34年
17	有鹿小学校	海西	有鹿小学校(校舎1)(本館東側)	1,343	S42年度	48年
18			有鹿小学校(校舎2)(本館西側)	911	S49年度	41年
19			有鹿小学校(校舎3)(西館)	1,051	S54年度	36年
20			有鹿小学校(屋内運動場)	716	S56年度	34年
21			有鹿小学校(校舎4)(東館)	1,311	H16年度	11年
22	中新田小学校	海西	中新田小学校(校舎1)(西棟)	2,257	S47年度	43年
23			中新田小学校(校舎2)(東棟中央)	1,652	S52年度	38年
24			中新田小学校(校舎3)(東棟東側)	654	S55年度	35年
25			中新田小学校(屋内運動場)	739	S52年度	38年
26	海老名小学校	国分	海老名小学校(校舎1)(西棟)	2,726	H15年度	12年
27			海老名小学校(校舎2)(東棟)	2,475	S52年度	38年
28			海老名小学校(校舎3)(北棟)	1,089	S53年度	37年
29			海老名小学校(屋内運動場・プール)	773	S54年度	36年
30	杉本小学校	国分	杉本小学校(校舎1)(1館)	2,297	S58年度	32年
31			杉本小学校(校舎2)(2館)	2,235	S58年度	32年
32			杉本小学校(屋内運動場)	738	S57年度	33年
33	大谷小学校	大谷	大谷小学校(校舎1)(南棟東側)	1,512	S43年度	47年
34			大谷小学校(校舎2)(南棟西側)	915	S44年度	46年
35			大谷小学校(校舎3)(北棟西側)	1,734	S48年度	42年
36			大谷小学校(校舎4)(北棟東側)	1,110	S55年度	35年
37			大谷小学校(屋内運動場)	720	S51年度	39年
38	有馬小学校	南部	有馬小学校(校舎1)(中央棟、東棟)	2,928	S47年度	43年
39			有馬小学校(校舎2)(西棟)	1,070	H6年度	21年
40			有馬小学校(屋内運動場)	943	S54年度	36年
41	門沢橋小学校	南部	門沢橋小学校(校舎1)(1棟)	2,262	S49年度	41年
42			門沢橋小学校(校舎2)(2棟)	1,160	S54年度	36年
43			門沢橋小学校(屋内運動場)	739	S53年度	37年
44	社家小学校	南部	社家小学校(校舎1)(本館)	2,551	S52年度	38年
45			社家小学校(校舎2)(新館)	1,194	H7年度	20年
46			社家小学校(屋内運動場)	700	S53年度	37年
47	杉久保小学校	南部	杉久保小学校(校舎1)(管理教室棟・東側校舎)	2,300	S55年度	35年
48			杉久保小学校(校舎2)(普通教室棟・中央校舎)	1,621	S55年度	35年
49			杉久保小学校(校舎3)(普通教室棟・西側校舎)	1,449	S57年度	33年
50			杉久保小学校(屋内運動場)	733	S54年度	36年
施設面積の合計(m ²)⇒				73,869		

- ・建設から30年、40年以上が経過している建物が多いが、他の施設分類に優先して、「老朽化対策工事」や「リニューアル工事」が実施されているほか、老朽化に対応して建替え済みの建物も複数ある。
- ・本市では、小中学校のプールは施設として廃止され、水泳の授業は市内の温水プールで実施されている。

【分類名】学校教育施設

[施設・建物]
 ≪中学校≫

NO	施設名	施設名	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	柏ヶ谷中学校	北部	柏ヶ谷中学校(校舎1)(西棟)	1,832	S53年度	37年
2			柏ヶ谷中学校(校舎2)(北棟)	2,636	S53年度	37年
3			柏ヶ谷中学校(校舎3)(南棟)	1,600	H3年度	24年
4			柏ヶ谷中学校(屋内運動場)	826	S54年度	36年
5	今泉中学校	北部	今泉中学校(校舎1)(A棟)	2,835	S58年度	32年
6			今泉中学校(校舎2)(B棟)	1,112	S58年度	32年
7			今泉中学校(校舎3)(C棟)	1,504	S58年度	32年
8			今泉中学校(屋内運動場)	1,101	S59年度	31年
9	海西中学校	海西	海西中学校(校舎1)(1棟西側)	3,009	S49年度	41年
10			海西中学校(校舎2)(1棟東側)	155	S49年度	41年
11			海西中学校(校舎3)(2棟東側)	2,182	S55年度	35年
12			海西中学校(校舎4)(2棟西側)	255	H3年度	24年
13			海西中学校(屋内運動場)	823	S51年度	39年
14	海老名中学校	国分	海老名中学校(校舎1)(1棟西側)	905	S43年度	47年
15			海老名中学校(校舎2)(1棟東側)	1,000	S44年度	46年
16			海老名中学校(校舎3)(2棟西側)	1,527	S45年度	45年
17			海老名中学校(校舎4)(2棟東側)	731	S46年度	44年
18			海老名中学校(校舎5)(3棟)	2,600	S47年度	43年
19			海老名中学校(屋内運動場)	1,211	S58年度	32年
20	大谷中学校	大谷	大谷中学校(校舎1)(西棟)	1,363	S55年度	35年
21			大谷中学校(校舎2)(中央棟)	2,587	S55年度	35年
22			大谷中学校(校舎3)(東棟)	1,741	S55年度	35年
23			大谷中学校(屋内運動場)	818	S55年度	35年
24	有馬中学校	南部	有馬中学校(校舎1)(A棟・中央)	2,739	S45年度	45年
25			有馬中学校(校舎2)(B棟・東側)	1,390	S53年度	37年
26			有馬中学校(校舎3)(C棟・西側)	1,767	H4年度	23年
27			有馬中学校(屋内運動場)	944	S50年度	40年
施設面積の合計(m ²)⇒				41,193		

- ・建設から30年、40年以上が経過している建物が多いが、他の施設分類に優先して、「老朽化対策工事」や「リニューアル工事」が実施されているほか、老朽化に対応して建替え済みの建物も複数ある。
- ・本市では、小中学校のプールは施設として廃止され、水泳の授業は市内の温水プールで実施されている。

≪その他≫

NO	施設名	施設名	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
28	食の創造館	海西	食の創造館	3,484	H24年度	3年
施設面積の合計(m ²)⇒				3,484		

【分類名】学校教育施設

[利用状況]

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		児童・生徒数(※食の創造館は利用者数)						増減の傾向			一人あたりの施設面積(㎡/人)
						5か年平均						増加	なし	減少	
						H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	5か年平均				
1	東柏ヶ谷小学校	東柏ヶ谷	5,657	児童数	人	661	639	641	611	581	627		↑↓		9.0
2	柏ヶ谷小学校	北部	5,310	児童数	人	470	473	475	466	477	472		↑↓		11.2
3	上星小学校	北部	6,534	児童数	人	621	614	633	645	647	632		↑↓		10.3
4	今泉小学校	北部	6,932	児童数	人	682	677	673	671	664	673			↓	10.3
5	有鹿小学校	海西	4,964	児童数	人	631	610	590	586	585	600			↓	8.3
6	中新田小学校	海西	5,874	児童数	人	543	547	535	518	499	528		↑↓		11.1
7	海老名小学校	国分	7,029	児童数	人	875	852	866	901	903	879		↑↓		8.0
8	杉本小学校	国分	5,271	児童数	人	531	586	603	630	615	593		↑↓		8.9
9	大谷小学校	大谷	6,010	児童数	人	609	627	628	611	582	611		↑↓		9.8
10	有馬小学校	南部	4,801	児童数	人	384	378	356	334	316	354			↓	13.6
11	門沢橋小学校	南部	4,161	児童数	人	485	505	521	505	502	504		↑↓		8.3
12	社家小学校	南部	4,518	児童数	人	356	365	365	391	411	378		↑↓		12.0
13	杉久保小学校	南部	6,070	児童数	人	631	621	610	593	610	613		↑↓		9.9
14	柏ヶ谷中学校	北部	6,891	生徒数	人	617	654	656	724	723	675		↑↓		10.2
15	今泉中学校	北部	6,269	生徒数	人	521	531	542	540	552	537		↑↓		11.7
16	海西中学校	海西	6,545	生徒数	人	502	532	556	602	593	557		↑↓		11.8
17	海老名中学校	国分	7,501	生徒数	人	421	447	487	493	499	469		↑		16.0
18	大谷中学校	大谷	6,517	生徒数	人	582	571	565	570	586	575		↑↓		11.3
19	有馬中学校	南部	7,107	生徒数	人	565	588	578	586	611	586		↑↓		12.1
20	食の創造館	海西	3,484	利用者数	人	-	-	1,046	2,575	1,771	2,173		↑↓		7.2
				利用件数	件	-	-	54	114	101	108		↑↓		9.0

※食の創造館の利用者数と利用件数は、「会議室」と「調理実習室」を合計した数値である。

※食の創造館は平成24年9月の開所であり、H24年度の利用数を除いて平均を算出している。

※「一人あたりの施設面積」の欄で、食の創造館は「一日あたり利用者数」及び「月あたり利用件数」を記載している。

(1) 小学校

(平成26年5月1日現在)

学校名	学級数	教職員数	児童数		
			総数	男	女
総数	264	341	7,395	3,782	3,613
海老名 小学校	30	35	902	478	424
柏ヶ谷 小学校	18	26	477	253	224
有 鹿 小学校	20	27	585	308	277
有 馬 小学校	14	17	316	152	164
大 谷 小学校	21	26	583	306	277
上 星 小学校	22	30	647	339	308
中新田 小学校	19	27	499	254	245
門沢橋 小学校	18	24	501	243	258
東柏ヶ谷小学校	21	27	581	291	290
社 家 小学校	16	18	411	208	203
杉久保 小学校	22	28	612	313	299
今 泉 小学校	22	28	667	327	340
杉 本 小学校	21	28	614	310	304

- 注) 1.学級数について、上星小・中新田小・門沢橋小・社家小学校の2年生、東柏ヶ谷小・杉本小学校の4年生、海老名小・柏ヶ谷小・大谷小・杉久保小学校の5年生は35人学級を実施。
2.教職員数は、正規採用職員のみ(事務職員を含む)。

(2) 中学校

(平成26年5月1日現在)

学校名	学級数	教職員数	生徒数		
			総数	男	女
総数	114	169	3,562	1,831	1,731
海老名 中学校	17	23	499	246	253
有 馬 中学校	20	29	610	307	303
海 西 中学校	18	28	593	302	291
柏ヶ谷 中学校	22	32	723	376	347
大 谷 中学校	19	27	585	314	271
今 泉 中学校	18	30	552	286	266

- 注) 1.学級数について、海老名・有馬・大谷中学校の2年生は、35人学級を実施。資料：学校教育課
2.教職員数は、正規採用職員のみ(事務職員を含む)。

※出典：統計えびな

- ・学校別に見ると、3つの小学校で児童数が減少傾向にある。一方、海老名中学校は生徒数が増加傾向にある。
- ・一人あたりの施設面積を見ると、概ね10㎡を超えているが、一部の学校で一桁に留まっている。8.0㎡と特に少ない海老名小学校では、学級数も30と他より多く、体育館の利用コマ数が不足する状況も出てきている。
- ・食の創造館の会議室と調理実習室は、給食センターの見学会に際しての利用がほとんどであり、一般の有料利用は年間数件にとどまっている。

【分類名】学校教育施設

[利用状況]

(1) 小学校 ー公立のみー

(各年5月1日現在)

年 度	学校数	学級数	教員数	児 童 数		
				総 数	男	女
	校	級	人	人	人	人
平成22年度	13	257	366	7,481	3,849	3,632
平成23年度	13	259	367	7,499	3,828	3,671
平成24年度	13	264	376	7,485	3,813	3,672
平成25年度	13	264	364	7,465	3,829	3,636
平成26年度	13	264	390	7,395	3,782	3,613

注) 教員数は臨時職員を含む。

(2) 中学校 ー公立のみー

(各年5月1日現在)

年 度	学校数	学級数	教員数	生 徒 数		
				総 数	男	女
	校	級	人	人	人	人
平成22年度	6	108	187	3,207	1,639	1,568
平成23年度	6	107	189	3,323	1,700	1,623
平成24年度	6	107	194	3,381	1,760	1,621
平成25年度	6	112	200	3,513	1,808	1,705
平成26年度	6	114	202	3,562	1,831	1,731

注) 教員数は臨時職員を含む。

※出典: 統計えびな

・近年の児童数、生徒数はおおむね横ばいで推移しているが、学級数は若干増加している。

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設 整備相当額(千 円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/m ²)	利用あたり フルコスト (円)
1	東柏ヶ谷小学校	2,036	18,050	20,087	32,223	52,310	321	83,482
2	柏ヶ谷小学校	437	11,631	12,069	27,532	39,601	81	83,864
3	上星小学校	426	11,405	11,830	33,269	45,099	65	71,360
4	今泉小学校	373	11,981	12,353	35,224	47,577	54	70,652
5	有鹿小学校	22,366	11,499	33,866	20,414	54,280	4,195	90,406
6	中新田小学校	430	11,017	11,447	26,918	38,365	81	72,606
7	海老名小学校	10,013	14,051	24,064	35,858	59,923	1,418	68,140
8	杉本小学校	414	11,618	12,032	26,755	38,788	79	65,409
9	大谷小学校	338	18,612	18,950	30,416	49,366	56	80,743
10	有馬小学校	359	12,955	13,314	25,085	38,399	73	108,596
11	門沢橋小学校	384	18,322	18,705	21,125	39,830	92	79,091
12	社家小学校	293	11,044	11,336	22,567	33,903	66	89,786
13	杉久保小学校	412	18,037	18,449	30,984	49,433	68	80,641
14	柏ヶ谷中学校	476	17,655	18,131	35,000	53,131	69	78,736
15	今泉中学校	571	13,793	14,363	33,264	47,627	87	88,658
16	海西中学校	587	12,913	13,500	32,614	46,114	91	82,789
17	海老名中学校	2,487	14,304	16,791	40,483	57,275	312	122,017
18	大谷中学校	548	20,522	21,070	33,046	54,116	84	94,147
19	有馬中学校	624	25,775	26,399	34,726	61,125	91	104,380
20	食の創造館	140	49,727	49,867	17,689	67,556	40	31,089
21	学校施設計上費	148,346	18,314	166,660	-	166,660	-	-
	合計	192,058	353,225	545,284	595,194	1,140,478	1,620	104,983

※公共施設白書作成時に調査した、H22～H24年度の実績に基づく。

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したものである。

- ・東柏ヶ谷小学校は、学校内に給食調理室を有しているため、他の小学校より維持管理費・事業運営費とも大きい。
- ・面積あたり維持管理費が大きい「有鹿小学校」、「海老名小学校」、「海老名中学校」は、借地やリース建物の賃借料が発生していることの影響が大きい。

【分類名】地域コミュニティ施設

[施設・建物]

NO	施設名	地域	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	えびな市民活動センター	海西	えびな市民活動センター(ピナレッジ)	2,960	H24年度	3年
2			えびな市民活動センター(ピナスポ)	5,009	H26年度	1年
3	柏ヶ谷コミュニティセンター	東柏ヶ谷	柏ヶ谷コミュニティセンター	1,456	S61年度	29年
4	上今泉コミュニティセンター	北部	上今泉コミュニティセンター	1,120	H3年度	24年
5	中新田コミュニティセンター	海西	中新田コミュニティセンター	1,179	S63年度	27年
6	下今泉コミュニティセンター	海西	下今泉コミュニティセンター	1,275	H8年度	19年
7	国分コミュニティセンター	国分	国分コミュニティセンター	1,377	H4年度	23年
8	大谷コミュニティセンター	大谷	大谷コミュニティセンター	1,174	S63年度	27年
9	杉久保コミュニティセンター	南部	杉久保コミュニティセンター	1,158	H5年度	22年
10	本郷コミュニティセンター	南部	本郷コミュニティセンター	1,179	H6年度	21年
11	門沢橋コミュニティセンター	南部	門沢橋コミュニティセンター	1,285	H6年度	21年
12	社家コミュニティセンター	南部	社家コミュニティセンター	1,360	H7年度	20年
13	勝瀬文化センター	国分	勝瀬文化センター	703	H2年度	25年
14	国分寺台文化センター	大谷	国分寺台文化センター	599	H10年度	17年
施設面積の合計(m ²)⇒				21,833		

- ・「えびな市民活動センター」は、青少年会館と給食センターの跡地に設置された、青少年会館・中央公民館・市民活動サポートセンターの機能を統合した施設であり、指定管理者により運営されている。
- ・2つの「文化センター」は、各地域に配置された「コミュニティセンター」を補完する施設と位置づけられる。
- ・コミュニティセンター及び文化センターは、整備や改修に際し防衛省からの補助を受けるために、社会教育施設ではなく「学習等共用施設」と位置づけで設置している。また、学習等地域の運営委員会(ボランティア)により自主運営されている。

[利用状況]

≪利用者数≫

NO	施設名	地域	施設面積(m ²)	利用指標	利用数						5ヵ年平均	増減の傾向			1日あたり利用者数(人/日)
					指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度		H26年度	増加	なし	
1	えびな市民活動センター(ピナレッジ)	海西	2,960	利用者数	人	-	-	-	60,589	84,333	72,461	-	-	-	199
2	えびな市民活動センター(ピナスポ)	海西	5,009	利用者数	人	-	-	-	-	78,373	188,095	-	-	-	517
3	柏ヶ谷コミュニティセンター	東柏ヶ谷	1,456	来館者数	人	42,475	46,455	47,819	48,386	49,447	46,916	↑	-	-	129
4	上今泉コミュニティセンター	北部	1,120	来館者数	人	65,173	67,342	57,712	21,567	56,629	53,685	↑	↓	-	147
5	中新田コミュニティセンター	海西	1,179	来館者数	人	44,200	15,342	43,349	48,532	56,059	48,035	↑	↓	-	132
6	下今泉コミュニティセンター	海西	1,275	来館者数	人	34,395	41,402	38,499	44,339	44,816	40,690	↑	↓	-	112
7	国分コミュニティセンター	国分	1,377	来館者数	人	61,852	56,614	47,819	52,347	46,168	52,960	↑	↓	-	145
8	大谷コミュニティセンター	大谷	1,174	来館者数	人	10,101	28,240	26,517	31,524	41,435	31,929	↑	↓	-	88
9	杉久保コミュニティセンター	南部	1,158	来館者数	人	48,800	44,575	33,346	39,821	47,535	42,815	↑	↓	-	118
10	本郷コミュニティセンター	南部	1,179	来館者数	人	34,743	35,740	32,391	37,566	40,603	36,209	↑	↓	-	99
11	門沢橋コミュニティセンター	南部	1,285	来館者数	人	48,786	47,582	43,438	41,730	46,193	45,546	↑	↓	-	125
12	社家コミュニティセンター	南部	1,360	来館者数	人	48,555	50,351	48,138	45,331	49,541	48,383	↑	↓	-	133
13	勝瀬文化センター	国分	703	来館者数	人	24,988	14,334	20,913	23,561	28,242	24,426	↑	↓	-	67
14	国分寺台文化センター	大谷	599	来館者数	人	34,882	41,584	33,960	34,321	38,219	34,421	↑	↓	-	95

※ピナレッジはH25年度の開館である。

※ピナスポはH26年度の開館で、利用者は11月～3月の5ヵ月分。平均は12カ月に換算している。

※リニューアル工事を実施した3つのコミュニティ施設(大谷コミュニティセンター:H22年度、中新田コミュニティセンター:H23年度、勝瀬コミュニティセンター:H23年度)は工事期間中は休館していたため、5ヶ年平均は工事実施年度を除外して算出している。

※1日あたり利用者数は、「5ヶ年平均」÷「52週」÷「7日」より算出しており、必ずしも施設の開館日と対応していない。

- ・利用者数、来館者数は年度ごとの変動があるがおおむね横ばいで推移している。
- ・柏ヶ谷コミュニティセンターは、来館者数が増加傾向である。

【分類名】地域コミュニティ施設

[利用状況]

≪貸室の稼働率≫

[コミュニティ施設、文化センター](平成27年2月～4月の3か月間の実績)

1. 柏ヶ谷コミュニティセンター 一般貸室平均稼働率※ 31.4%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 第1学習室	29.0%	29.3%	36.4%	31.6%
2 集会室(1)	30.9%	36.8%	32.8%	33.5%
3 集会室(2)	29.9%	35.6%	34.8%	33.4%
4 会議室	25.6%	27.2%	24.6%	25.8%
5 第2学習室	13.6%	13.5%	24.3%	17.1%
6 実習室	4.8%	1.1%	2.9%	2.9%
7 休養室	20.2%	20.8%	22.1%	21.1%
8 第3学習室	0.0%	1.1%	0.0%	0.4%
9 談話室	15.0%	15.6%	14.2%	14.9%
10 レクリエーション室	33.0%	32.2%	33.2%	32.8%

2. 上今泉コミュニティセンター 一般貸室平均稼働率※ 41.7%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 集会室1	35.6%	40.0%	36.6%	37.4%
2 集会室2	18.1%	48.6%	42.0%	36.2%
3 レクリエーション室A-1	68.4%	71.3%	70.5%	70.1%
4 レクリエーション室A-2	63.0%	67.9%	65.4%	65.4%
5 レクリエーション室B-1	34.6%	39.9%	36.8%	37.1%
6 レクリエーション室B-2	32.4%	39.9%	35.9%	36.1%
7 多目的室	16.0%	21.7%	14.9%	17.6%
8 休養室1	19.9%	27.9%	16.2%	21.4%
9 休養室2	12.8%	18.8%	16.5%	16.0%
10 会議室	32.7%	32.4%	35.6%	33.6%
11 実習室	4.3%	6.5%	4.9%	5.2%

3. 中新田コミュニティセンター 一般貸室平均稼働率※ 49.5%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 第一集会室(1)	94.0%	61.3%	53.3%	57.3%
2 第一集会室(2)		39.6%	35.1%	37.3%
3 第一学習室	35.8%	36.3%	42.1%	38.1%
4 音楽室	42.1%	40.4%	39.1%	40.5%
5 休養室	1.9%	0.7%	0.0%	0.8%
6 第二集会室	68.4%	68.3%	65.9%	67.5%
7 会議室	38.1%	36.7%	32.9%	35.9%
8 実習室	6.8%	6.9%	5.0%	6.3%
9				
10				

※第一集会室の2月は部屋全体の数値。平均は3月と4月。

4. 下今泉コミュニティセンター 一般貸室平均稼働率※ 35.0%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 レク室(鏡)	82.3%	81.0%	81.6%	81.6%
2 レク室(入口)	82.3%	81.1%	83.3%	82.2%
3 集会室1	12.3%	23.3%	10.8%	15.5%
4 集会室2	9.3%	16.5%	7.0%	10.9%
5 休養室	19.8%	26.4%	12.8%	19.6%
6 会議室1	13.3%	13.1%	16.2%	14.2%
7 会議室2	8.2%	5.3%	3.9%	5.8%
8 音楽室	60.3%	60.4%	53.2%	58.0%
9 実習室	7.4%	3.2%	3.6%	4.7%
10				

5. 国分コミュニティセンター 一般貸室平均稼働率※ 40.2%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 レク室1	65.3%	69.0%	71.3%	68.5%
2 レク室2	71.8%	72.5%	74.1%	72.8%
3 会議室1	40.4%	40.6%	39.4%	40.1%
4 会議室2	14.0%	13.3%	14.6%	14.0%
5 音楽室	52.9%	47.2%	57.9%	52.7%
6 学習室1	1.9%	1.9%	1.8%	1.9%
7 実習室	16.2%	19.0%	14.6%	16.6%
8 休養室	47.7%	40.7%	37.9%	42.1%
9 集会室1	65.1%	59.2%	55.5%	59.9%
10 集会室2	25.6%	26.0%	25.6%	25.7%

6. 大谷コミュニティセンター 一般貸室平均稼働率※ 30.5%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 レクリエーション室A	50.8%	44.4%	54.9%	50.0%
2 レクリエーション室B	47.2%	39.9%	54.9%	47.3%
3 レクリエーション室C	37.8%	36.4%	39.8%	38.0%
4 集会室①	35.6%	36.1%	31.9%	34.6%
5 集会室②	37.2%	37.6%	33.9%	36.2%
6 多目的室	15.9%	12.2%	10.8%	13.0%
7 会議室①	16.0%	17.6%	13.6%	15.8%
8 会議室②	11.4%	9.0%	7.8%	9.4%
9 休養室	15.7%	13.3%	16.4%	15.2%
10 実習室	3.7%	2.1%	0.0%	1.9%

7. 杉久保コミュニティセンター 一般貸室平均稼働率※ 42.8%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 集会室 ステージ側	39.2%	35.6%	43.0%	39.3%
2 集会室 奥側	35.5%	34.9%	37.6%	36.0%
3 保育室	0.6%	0.0%	0.0%	0.2%
4 休養室	24.8%	20.1%	22.9%	22.6%
5 音楽室	52.8%	37.2%	47.0%	45.7%
6 会議室	19.8%	19.6%	17.0%	18.8%
7 実習室	4.2%	4.4%	2.8%	3.8%
8 レクリエーション室 鏡側	58.8%	62.6%	60.0%	60.5%
9 レクリエーション室 奥側	59.7%	62.6%	55.5%	59.3%
10				

8. 本郷コミュニティセンター 一般貸室平均稼働率※ 37.7%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 集会室①	21.1%	25.6%	23.6%	23.4%
2 集会室②	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3 会議室	12.7%	12.5%	13.1%	12.7%
4 第1学習室	0.6%	0.0%	0.0%	0.2%
5 第2学習室	21.5%	12.1%	18.7%	17.4%
6 実習室	5.1%	2.2%	1.3%	2.9%
7 レクリエーション室	76.1%	77.6%	76.7%	76.8%
8				
9				
10				
11				

9. 門沢橋コミュニティセンター 一般貸室平均稼働率※ 44.2%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 集会室①	47.2%	44.3%	42.7%	44.7%
2 集会室②	46.3%	42.9%	41.8%	43.7%
3 休養室	0.0%	0.6%	0.0%	0.2%
4 保育室	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5 学習室①	1.1%	0.0%	1.2%	0.8%
6 学習室②	21.8%	20.1%	27.4%	23.1%
7 会議室	19.9%	22.5%	21.1%	21.2%
8 実習室	3.7%	7.2%	4.8%	5.2%
9 レクリエーション室①	50.3%	55.3%	63.8%	56.5%
10 レクリエーション室②	52.0%	54.4%	57.9%	54.8%

10. 社家コミュニティセンター 一般貸室平均稼働率※ 48.2%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 集会室1(舞台側)	45.1%	46.8%	52.1%	48.0%
2 集会室2	35.5%	37.4%	35.3%	36.0%
3 保育室	0.5%	0.4%	0.0%	0.3%
4 休養室	0.0%	0.8%	0.6%	0.5%
5 学習室1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 学習室2	44.0%	42.6%	35.0%	40.5%
7 実習室	7.1%	5.6%	9.2%	7.3%
8 会議室	19.9%	14.4%	15.5%	16.6%
9 レク室1(鏡)	73.0%	77.9%	71.6%	74.2%
10 レク室2	64.0%	71.8%	62.5%	66.1%

11. 勝瀬文化センター 一般貸室平均稼働率※ 30.4%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 遊戯室	30.6%	35.0%	31.0%	32.2%
2 会議室	19.4%	23.3%	16.8%	19.9%
3 教養室	12.0%	15.0%	12.9%	13.3%
4 調理室	3.7%	2.5%	0.0%	2.1%
5 集会室1	39.8%	32.5%	31.9%	34.7%
6 集会室2	36.7%	38.3%	29.3%	34.8%
7				
8				
9				
10				

12. 国分寺台文化センター 一般貸室平均稼働率※ 64.0%

部屋名	2月	3月	4月	平均
1 集会室①	56.5%	56.9%	53.4%	55.6%
2 集会室②	77.6%	73.9%	65.7%	72.4%
3 休養室①	28.1%	33.9%	33.2%	31.7%
4 学習室②	37.5%	41.1%	44.0%	40.9%
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※休養室、学習室、保育室の中には、基本的に入り自由なスペースとしているため、稼働率が極端に低い場合がある。

※一般貸室・・・レク室、集会室、会議室、多目的室

【凡例】

←	70% 以上
←	50% 以上 70% 未満
←	30% 以上 50% 未満
←	30% 未満

・稼働率が50%を下回る貸室が多い。特に、実習室が利用されていない。

・稼働率が高い貸室は、軽スポーツ等に使える広い部屋と音楽室に多い。

【分類名】地域コミュニティ施設

[利用状況]

≪貸室の稼働率≫

[ピナレッジ、ピナスポ](平成26年度)

NO	施設名	分類	貸室名	室面積	利用件数	稼働率の算出方法	稼働率
1	えびな市民活動センター (ピナレッジ)	ホール(可動席)	ホール	272.5 (㎡)	395 (件)	利用コマ数/提供コマ数	28.4 (%)
		会議室(汎用・洋室)	201会議室	48.2 (㎡)	327 (件)	利用コマ数/提供コマ数	26.5 (%)
			202会議室	29.5 (㎡)	511 (件)	利用コマ数/提供コマ数	33.8 (%)
			203会議室	29.2 (㎡)	592 (件)	利用コマ数/提供コマ数	37.7 (%)
			204会議室	64.1 (㎡)	318 (件)	利用コマ数/提供コマ数	21.3 (%)
			301会議室	48.2 (㎡)	307 (件)	利用コマ数/提供コマ数	19.9 (%)
			302会議室	29.5 (㎡)	341 (件)	利用コマ数/提供コマ数	22.3 (%)
			303会議室	29.2 (㎡)	352 (件)	利用コマ数/提供コマ数	26.8 (%)
			304会議室	57.5 (㎡)	370 (件)	利用コマ数/提供コマ数	23.3 (%)
			305会議室	44.7 (㎡)	291 (件)	利用コマ数/提供コマ数	15.4 (%)
		306会議室	37.0 (㎡)	822 (件)	利用コマ数/提供コマ数	45.7 (%)	
和室	和室	77.8 (㎡)	156 (件)	利用コマ数/提供コマ数	11.8 (%)		
実習室(特定用途)	実習室	93.3 (㎡)	157 (件)	利用コマ数/提供コマ数	13.2 (%)		
	調理室	91.7 (㎡)	132 (件)	利用コマ数/提供コマ数	11.1 (%)		
2	えびな市民活動センター (ピナスポ)	大多目的室	大多目的室	800.8 (㎡)	693 (件)	利用コマ数/提供コマ数	56.8 (%)
		小多目的室	小多目的室	429.0 (㎡)	470 (件)	利用コマ数/提供コマ数	54.1 (%)
		レクリエーションルーム	レクリエーションルーム	169.0 (㎡)	215 (件)	利用コマ数/提供コマ数	52.8 (%)
		多目的室グラウンド	多目的室グラウンド	1,450.0 (㎡)	60 (件)	利用コマ数/提供コマ数	14.9 (%)

- ・ピナレッジは、稼働率30%を下回る貸室が多い。
- ・ピナレッジの中で比較的稼働率の高い部屋は、いずれも利用料金が他室よりも安い。また、306会議室には防音設備がある。
- ・ピナスポの多目的室(体育館)は稼働率が50%を超えている。
- ・ピナレッジとピナスポを合わせた市民活動センター全体で考えると、軽スポーツ等で体育館的な利用が多く、会議室としての利用が少ない、コミュニティセンターや文化センターの利用状況と基本的な傾向は共通している。

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設 整備相当額(千 円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/㎡)	利用あたり フルコスト (円)
1	えびな市民活動センター(ピナレッジ)	-	-	-	44,136	44,136	-	-
2	えびな市民活動センター(ピナスポ)	-	-	-	-	-	-	-
3	柏ヶ谷コミュニティセンター	3,203	10,451	13,654	8,063	21,717	2,200	463
4	上今泉コミュニティセンター	2,691	11,593	14,284	6,201	20,485	2,404	382
5	中新田コミュニティセンター	2,592	9,638	12,230	6,530	18,760	2,198	452
6	下今泉コミュニティセンター	3,454	11,222	14,676	7,062	21,738	2,709	534
7	国分コミュニティセンター	4,085	12,246	16,331	7,627	23,958	2,967	452
8	大谷コミュニティセンター	3,324	8,580	11,904	6,500	18,404	2,833	668
9	杉久保コミュニティセンター	7,934	11,219	19,153	6,416	25,569	6,850	597
10	本郷コミュニティセンター	4,038	11,393	15,431	6,527	21,958	3,427	606
11	門沢橋コミュニティセンター	5,311	11,215	16,526	7,117	23,643	4,133	519
12	社家コミュニティセンター	3,182	11,574	14,756	7,532	22,288	2,339	461
13	勝瀬文化センター	2,064	8,407	10,471	3,896	14,367	2,934	641
14	国分寺台文化センター	3,408	12,696	16,105	3,318	19,422	5,690	531
	合計	45,288	130,232	175,520	120,924	296,444	3,390	599

※公共施設白書作成時に調査した、H22～H24年度の実績に基づく。

※ピナレッジは平成25年度、ピナスポは平成26年度の開館であるため調査対象に含まれていない。

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したものの。

【分類名】教育施設

[施設・建物]

NO	施設名	地域	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	歴史資料収蔵館	海西	歴史資料収蔵館	333	S45年度	45年
2	今福薬医門公園 文庫蔵	海西	今福薬医門公園 文庫蔵	37	1847年	168年
3	温故館(郷土資料館)	国分	温故館(郷土資料館)	423	H22年度	5年
4	文化財収蔵庫	国分	文化財収蔵庫	318	H5年度	22年
5	中央図書館	海西	中央図書館	3,629	S59年度	31年
6	有馬図書館	南部	有馬図書館	933	H6年度	21年
7	教育支援センター	海西	教育支援センター	433	H26年度	1年
施設面積の合計(m ²)⇒				6,106		

※今福薬医門公園文庫蔵は、江戸時代の建物を保存・展示しているもの。

- ・歴史資料収蔵館は、寄贈された歴史資料や公文書の保管を行っており、元々は児童館として整備された建物を転用している。
- ・温故館(郷土資料館)の建物は旧村役場の建物を部分移築しており、歴史的建築物としての位置づけもある。
- ・文化財収蔵庫は、文化財として認定された出土品を保管している。
- ・図書館は平成26年度から指定管理者を導入しているが、中央図書館と有馬図書館は別の指定管理者が運営している。
- ・中央図書館は平成27年10月にリニューアルオープン。
- ・教育支援センターは平成26年度に開設され、子どもの教育に関する相談や指導、各種支援事業を実施している。

[利用状況]

NO	施設名	地域	施設面積(m ²)	利用指標	利用数						増減の傾向			1日あたり利用者数(人/日)		
					指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	5カ年平均	増加		なし	減少
1	歴史資料収蔵館	海西	333	来館者数	人	991	1,448	937	1,108	1,189	1,135		↑	↓		3.1
2	今福薬医門公園 文庫蔵	海西	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	温故館(郷土資料館)	国分	423	来館者数	人	開設前	10,305	8,885	8,781	8,341	9,078			↓		24.9
4	文化財収蔵庫	国分	318	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	中央図書館	海西	3,629	図書貸出者数	人	148,278	145,252	149,503	144,397	91,259	146,858		↑	↓		403.5
				貸出冊数	冊	434,635	485,313	489,951	474,359	338,930	471,065		↑	↓		-
6	有馬図書館	南部	933	来館者数	人	-	-	-	-	-	275,419		-	-	-	756.6
				図書貸出者数	人	29,253	28,332	27,276	26,037	35,318	29,243		↑	↓		80.3
7	教育支援センター	海西	433	貸出冊数	冊	97,860	115,459	114,131	107,784	153,974	117,842		↑	↓		-
				来館者数	人	-	-	-	-	107,456	107,456		-	-		295.2
				来館者数	人	-	-	-	開設前	1,310	1,310		-	-	-	-

※中央図書館は、H26.12～H27.9までリニューアル工事のため閉館していたため、図書貸出者数と貸出冊数の平均はH22～H25年度の4カ年で算出している。

※図書館はH26から指定管理者に移行し、来館者数も把握できるようになった。

※1日あたり利用者数は、「5ヶ年平均」÷「52週」÷「7日」より算出しており、必ずしも施設の開館日と対応していない。

- ・H26年度は中央図書館が長期閉館したため、有馬図書館の利用が増えた。また、かしわ台連絡所と海老名駅連絡所でも図書の出貸・返却の取次ぎを行い、証明書の発行など通常サービスを上回る利用があった。
(かしわ台連絡所:約7,000人、海老名駅連絡所:約10,000人)

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費(千円)	事業運営費(千円)	①合計(千円)	②年あたり施設整備相当額(千円)	フルコスト(①+②)(千円)	面積あたり維持管理費(円/m ²)	利用あたりフルコスト(円)
1	歴史資料収蔵館	677	9,478	10,155	1,691	11,846	2,033	10,440
2	今福薬医門公園 文庫蔵	-	-	-	-	-	-	-
3	温故館(郷土資料館)	2,517	10,713	13,230	2,148	15,378	5,950	1,694
4	文化財収蔵庫	315	342	657	1,614	2,272	991	-
5	中央図書館	14,354	150,180	164,534	18,424	182,958	3,955	1,246
6	有馬図書館	2,967	10,444	13,411	4,737	18,147	3,180	621
7	教育支援センター	-	-	-	2,198	2,198	-	1,678
合計		20,830	181,158	201,988	30,812	232,799	3,222	1,241

※公共施設白書作成時に調査した、H22～H24年度の実績に基づくため、図書館は指定管理者導入前のデータ。

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したものの。

【分類名】文化スポーツ施設

[施設・建物]

NO	施設名	地域	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	海老名運動公園	南部	海老名運動公園総合体育館	9,466	S64年度	26年
2			海老名運動公園屋内プール	2,521	S64年度	26年
3			海老名運動公園野球場	2,142	S57年度	33年
4			海老名運動公園陸上競技場	1,319	H3年度	24年
5	北部公園	北部	北部公園体育館	4,706	H12年度	15年
6	中野公園	南部	※建物なし		-	
7	中野多目的広場	南部	※建物なし		-	
8	下今泉庭球場	海西	下今泉庭球場・管理棟	61	S54年度	36年
9	今里庭球場	南部	今里庭球場・管理棟	84	H19年度	8年
10	文化会館	海西	文化会館(大ホール棟)	5,812	S54年度	36年
11			文化会館(小ホール棟)	3,388	H7年度	20年
12	市民ギャラリー	国分	市民ギャラリー	700	H7年度	20年
施設面積の合計(m ²)⇒				30,199		

- ・海老名運動公園、北部公園には庭球場もある。いずれも人工芝で計9面(6面、3面)。
- ・中野公園は人工芝グラウンド、中野多目的広場は河川敷のグラウンド(サッカー場、ラグビー場の2面)。
- ・下今泉庭球場はクレー4面、今里庭球場は人工芝3面。両体育館も合わせると、人工芝は全12面。
- ・文化会館は、大ホール、小ホール、120サロンの他、練習室・会議室等、計25の貸室を備える。
- ・市民ギャラリーは、第1展示室、第2展示室からなる。

[利用状況]

《スポーツ施設》

NO	施設名	地域	施設面積(m ²)	利用指標		利用数						増減の傾向			1日あたり利用者数(人/日)
				指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	5年平均	増加	なし	減少	
1	海老名運動公園	南部	14,562	利用人数	人	415,759	561,135	596,567	363,436	373,004	461,980				1269.2
2	北部公園	北部	4,706	利用人数	人	138,275	145,268	143,038	136,874	136,884	140,068		↑↓		384.8
3	中野公園	南部	-	-	-	-	-	-	-	36,557	36,557	-	-	-	100.4
4	中野多目的広場	南部	-	利用人数	人	11,760	12,740	13,800	12,180	12,320	12,560		↑↓		34.5
5	下今泉庭球場	海西	61	利用人数	人	7,372	6,964	6,651	5,030	5,748	6,353		↑↓		17.5
6	今里庭球場	南部	84	利用人数	人	16,327	15,498	16,317	15,333	15,787	15,852		↑↓		43.6

NO	施設名	分類	貸室名	利用件数	稼働率の算出方法	稼働率
1	海老名運動公園	スポーツ施設	大体育室	754 (件)	利用コマ数/提供コマ数	54.0 (%)
			小体育室	494 (件)	利用コマ数/提供コマ数	51.0 (%)
			多目的室	484 (件)	利用コマ数/提供コマ数	47.0 (%)
			柔道場	437 (件)	利用コマ数/提供コマ数	41.0 (%)
			剣道場	477 (件)	利用コマ数/提供コマ数	42.0 (%)
			弓道場	417 (件)	利用コマ数/提供コマ数	60.0 (%)
			トレーニング室	31,109 (件)	—	—
			屋内プール	56,996 (件)	—	—
			陸上競技場	82 (件)	利用コマ数/提供コマ数	24.0 (%)
		野球場	242 (件)	利用コマ数/提供コマ数	45.0 (%)	
		会議室(汎用・洋室)	会議室	144 (件)	利用コマ数/提供コマ数	25.0 (%)
			屋内プール 会議室	—	利用コマ数/提供コマ数	14.0 (%)
			屋内プール 研修室	—	利用コマ数/提供コマ数	16.0 (%)
陸上競技場 会議室	—		利用コマ数/提供コマ数	24.0 (%)		
2	北部公園	スポーツ施設	体育室	1,353 (件)	利用コマ数/提供コマ数	68.0 (%)
		屋内プール	—	—	—	
3	下今泉庭球場	会議室(汎用・洋室)	多目的室	248 (件)	利用コマ数/提供コマ数	25.0 (%)
		スポーツ施設	庭球場	1,421 (件)	利用コマ数/提供コマ数	27.0 (%)
4	今里庭球場	スポーツ施設	庭球場	—	利用コマ数/提供コマ数	71.0 (%)

- ・スポーツ施設は、40~60%程度の稼働率となっている。
- ・付帯する会議室の稼働率は30%以下で、コミュニティ施設等の稼働率と同等である。
- ・下今泉庭球場は、クレーコートで利用が天候に左右されるため人気が無く、稼働率も低くなっている。但し、休日について見れば、いずれの庭球場もほぼ100%稼働している。

[利用状況]
 ≪文化施設≫

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		利用数						増減の傾向			1日あたり利用者 数 (人/日)
						5ヵ年平均						増加	なし	減少	
				指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	5ヵ年平均				
1	文化会館	海西	9,200	入場者数	人	151,367	85,801	203,492	175,156	173,882	175,974	↑↓	↑↓	↑↓	483.4
2				平均使用日数	日	183	95	245	233	254	229	↑↓	↑↓	↑↓	-
3	市民ギャラリー	国分	700	来場者数	人	25,659	35,296	26,307	33,289	25,640	29,238	↑↓	↑↓	↑↓	80.3
4				使用日数	日	165	210	129	185	137	165	↑↓	↑↓	↑↓	-

※文化会館は、H23年度にリニューアル工事を実施したため利用が減少しており、平均の算出からも除外している。

NO	施設名	分類	貸室名	利用件数	稼働率の算出方法	稼働率
1	文化会館	ホール(可動席)	大ホール	243 (件)	利用日数/開館日数	81.7 (%)
			小ホール	322 (件)	利用日数/開館日数	86.0 (%)
		大ホール棟 会議室(汎用・洋室)	107リハーサル室	314 (日)	利用日数/開館日数	100.0 (%)
			108大練習室	333 (日)	利用日数/開館日数	100.0 (%)
			253学習室	293 (日)	利用日数/開館日数	92.8 (%)
			254学習室	262 (日)	利用日数/開館日数	89.2 (%)
			255創造室	128 (日)	利用日数/開館日数	55.8 (%)
			256創造室	65 (日)	利用日数/開館日数	36.3 (%)
			351多目的室	256 (日)	利用日数/開館日数	90.4 (%)
			352多目的室	270 (日)	利用日数/開館日数	93.4 (%)
			353多目的室	271 (日)	利用日数/開館日数	92.2 (%)
			251和室	236 (日)	利用日数/開館日数	87.7 (%)
		252和室	253 (日)	利用日数/開館日数	85.3 (%)	
		大ホール棟 実習室(特定用途)	354実習室・調理室	0 0	利用日数/開館日数	36.3 (%)
		小ホール棟 会議室(汎用・洋室)	120サロン	300 (件)	利用日数/開館日数	82.2 (%)
			122大会議室	218 (日)	利用日数/開館日数	70.2 (%)
			203練習室	226 (日)	利用日数/開館日数	87.7 (%)
			204練習室	150 (日)	利用日数/開館日数	71.8 (%)
			206リハーサル室	279 (日)	利用日数/開館日数	98.8 (%)
			207会議室	76 (日)	利用日数/開館日数	64.9 (%)
			208会議室	64 (日)	利用日数/開館日数	56.8 (%)
			301練習室	327 (日)	利用日数/開館日数	99.4 (%)
			302練習室	269 (日)	利用日数/開館日数	95.8 (%)
303練習室	239 (日)		利用日数/開館日数	95.8 (%)		
401練習室	269 (日)	利用日数/開館日数	94.3 (%)			
402練習室	204 (日)	利用日数/開館日数	87.1 (%)			
403練習室	231 (日)	利用日数/開館日数	86.2 (%)			
404練習室	166 (日)	利用日数/開館日数	85.0 (%)			
2	市民ギャラリー	その他	第1展示室	27 (件)	利用日数/開館日数	41.1 (%)
			第2展示室	45 (件)	利用日数/開館日数	58.0 (%)

※コミュニティ施設やスポーツ施設と異なり、コマ単位ではなく日単位で稼働率を算出しているため、単純に比較することができない点には留意が必要である。

- ・文化会館の主要施設である、大ホール、小ホール、120サロンはいずれも稼働率が80%以上で利用が多い。
- ・文化会館は、他の貸室についても、ホール使用時の控室としての利用のほか、リハーサルや練習で稼働率が高いが、コミュニティ施設等と同様に、実習室(調理室、創造室)や会議室の稼働率は低くなっている。
- ・市民ギャラリーは、面積が小さく料金も安い第2展示室の稼働率が高くなっている。

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/㎡)	利用あたり フルコスト (円)
1	海老名運動公園	57,328	408,566	465,894	80,653	546,547	3,937	1,183
2	北部公園	9,510	-	9,510	7,303	16,813	7,212	120
3	中野公園	-	-	-	-	-	-	-
4	中野多目的広場	-	-	-	-	-	-	-
5	下今庭球場	0	-	0	338	338	0	53
6	今里庭球場	0	-	0	465	465	0	29
7	文化会館	70,862	110,985	181,848	32,657	214,504	12,018	1,358
8	市民ギャラリー	7,970	380	8,350	3,879	12,229	11,381	418
合計		145,671	519,931	665,602	125,295	790,897	4,421	919

※公共施設白書作成時に調査した、H22～H24年度の実績に基づく。

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したものの。

【分類名】保健医療福祉施設

[施設・建物]

NO	施設名	地域	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	医療センター	海西	医療センター	1,399	H7年度	20年
2	保健相談センター	海西	保健相談センター	3,249	H3年度	24年
3	柏ヶ谷保育園	東柏ヶ谷	柏ヶ谷保育園(本館)	584	H4年度	23年
4			(柏ヶ谷コミュニティセンター内)	119	S61年度	29年
5	下今泉保育園	海西	下今泉保育園	326	S47年度	43年
6	中新田保育園	海西	中新田保育園(本館)	543	H10年度	17年
7			中新田保育園(増築棟)	244	H23年度	4年
8	勝瀬保育園	国分	勝瀬保育園	434	S52年度	38年
9	門沢橋保育園	南部	門沢橋保育園	328	S46年度	44年
10	上河内保育園	南部	上河内保育園	685	H元年	27年
11	子育て支援センター	海西	(保健相談センター内)	145	H3年度	24年
12	障害者第三デイサービスセンター(あきば)	北部	障害者第三デイサービスセンター(あきば)	580	H5年度	22年
13	障害者第二デイサービスセンター(かっぱ堂)	国分	障害者第二デイサービスセンター(かっぱ堂)	575	H22年度	5年
14	障害者第一デイサービスセンター(レインボードリーム)	南部	障害者第一デイサービスセンター(レインボードリーム)	538	H22年度	5年
15	わかば会館	海西	わかば会館	1,218	H2年度	25年
16	わかば学園(わかば会館内)	海西	(わかば会館内)	902	H2年度	25年
17	わかばケアセンター(わかば会館内)	海西	(わかば会館内)	1,010	H2年度	25年
18	総合福祉会館	海西	総合福祉会館	1,677	S57年度	33年
19	国分寺台ケアセンター	大谷	(国分寺台文化センター内)	642	H10年度	17年
20	高齢者生きがい会館	南部	高齢者生きがい会館	515	H18年度	9年
施設面積の合計(m ²)⇒				15,714		

《保健医療施設》

- ・医療センター：休日・夜間の急患診療所。医師会運営の検査センター、訪問介護ステーション等も設置。
平成23年の東日本大震災以降、「災害時医療コントロールセンター」の機能が付加され、広域災害時に海老名市医師会が市内3病院と協力して医療活動を行う拠点施設として位置づけられている。
- ・保健相談センター：各種相談対応、健康診査、予防接種等を実施。市が実施する各種検診や予防接種の会場にもなる。

《子育て支援施設》

- ・保育園：公立園6施設のほか、民間園も14施設あり。H28年度の定員は、公立：650人、民間：1,130人の合計1,780人。
上河内保育園は、民間事業者が廃業したため、在園児の保育を継続するため急遽市で運営することとなった。
- ・子育て支援センター：子どもの遊び場や、親同士の交流の場を提供する施設。保健相談センターの建物内に併設。

《障がい者福祉施設》

- ・障害者デイサービスセンター：障がい者の自立生活に向けた支援を行う施設。施設ごとに対象とする障害の種類が異なる。
- ・わかば会館：福祉関係団体を対象とした貸室のほか、重度障がい者向けの通所サービス(入浴、訓練、作業等)を提供。
- ・わかば学園：障がいのある未就学の子どもの対象に、生活基本訓練を行う施設。わかば会館の建物内に併設。
- ・わかばケアセンター：身体障がい者や知的障がい者の生活介護を目的とする施設。わかば会館の建物内に併設。

《高齢者福祉施設》

- ・総合福祉会館：高齢者団体を対象とした貸室サービスを提供する施設。
- ・国分寺台ケアセンター：デイサービスを提供する施設。
- ・高齢者生きがい会館：高齢者団体を対象とした貸室サービスを提供する施設。建物内にシルバー人材センターの事務所も設置。

[利用状況]

《保健医療施設》

NO	施設名	地域	施設面積(m ²)	利用指標		利用数					増減の傾向			1日あたり利用者数(人/日)	
						H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	5年平均	増加	なし		減少
1	医療センター	海西	1,399	利用者数	人	24,820	25,709	24,750	28,681	25,211	25,834		↑↓		71.0
2	保健相談センター	海西	3,249	利用者数	人	65,121	70,094	62,632	57,094	58,344	62,657		↑↓		172.1

- ・医療センターの急患診療所の受診者数(平成26年度)・・・平日夜間：4.7人/日、休日昼間：29.0人/日、休日夜間：8.5人/日
- ・急患診療所は年間を通して平均的な稼働であるが、インフルエンザなどの感染症流行期については、1日平均200人前後の受診がある。
- ・1次救急体制の構築は市町村で対応することが求められている。「急患診療所」に代わり「在宅当番医制度」で対応することも考えられるが、全国的に見ると急患診療所が増加傾向にある。

【分類名】保健医療福祉施設

[利用状況]

《子育て支援施設》

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		入所人数、利用数						増減の傾向			1人あたり面積、1日あたり利用者数
				指標名	単位	7372	6964	6651	5030	5748	5か年平均	増加	なし	減少	
1	柏ヶ谷保育園	東柏ヶ谷	703	入所人数	人	119	120	120	114	118	118		↑↓		5.9 ㎡/人
2	下今泉保育園	海西	326	入所人数	人	81	86	83	85	85	84		↑↓		3.9 ㎡/人
3	中新田保育園	海西	871	入所人数	人	106	126	140	143	148	133	↑			6.6 ㎡/人
4	勝瀬保育園	国分	434	入所人数	人	58	60	57	60	60	59		↑↓		7.4 ㎡/人
5	門沢橋保育園	南部	328	入所人数	人	70	71	71	71	68	70		↑↓		4.7 ㎡/人
6	上河内保育園	南部	685	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	子育て支援センター	海西	145	利用者数	人	31,743	25,635	30,667	40,719	38,193	39,456		↑↓		108 人/日

・『子ども・子育て支援事業計画』(H27.3)において、将来ニーズを分析し対応方針を示している。

- “低年齢の保育ニーズと年中以上の教育ニーズが高い”との認識に基づき、保育園のほか、認定こども園、地域型保育事業、幼稚園など多様な方策を組み合わせ対応する。
- 保育の需要は平成30年度がピークと想定しており、ニーズの増加に対しては、民間保育所の増設が見込めない部分を仮設園舎等で補い、ニーズの減少段階においては定員縮小等により、民間保育所に影響を与えないよう需給の調整を図る。

※『子ども・子育て支援事業計画』は、上河内保育園の公立園化や、人口ビジョン・総合戦略は反映しておらず、今後、前提条件を含めた見直しが必要になると考えられる。

《障がい者福祉施設》

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		利用数、登録者数						増減の傾向			1日あたり利用者数 (人/日)
				指標名	単位	183,333	95	244,667	233	254	5か年平均	増加	なし	減少	
1	障害者第三デイサービスセンター(あきば)	北部	580	利用者数	人	4,188	4,270	4,708	4,702	4,847	4,543		↑↓		12.5
2	障害者第二デイサービスセンター(かっぱ堂)	国分	575	利用者数	人	8,242	8,292	8,798	8,819	9,209	8,672	↑			23.8
3	障害者第一デイサービスセンター(レインボードリーム)	南部	538	利用者数	人	6,300	7,283	7,109	7,151	7,417	7,052		↑↓		19.4
4	わかば会館	海西	1,218	利用者数	人	45,964	38,732	34,662	32,000	6,970	37,840			↓	104.0
5	わかば学園(わかば会館内)	海西	902	登録者数	人	175	157	222	255	244	211		↑↓		-
6	わかばケアセンター(わかば会館内)	海西	1,010	登録者数	人	40	38	45	47	41	42		↑↓		-

・認定対象の障害や難病が増やえているため、対象者は増加傾向にある。

・制度変更により、施設で提供するサービスメニューが増えているほか、メニューには、提供が必須のものと選択制のものがあり、市で提供するメニューの選択によりニーズも変わる。

・第三デイサービスセンター(あきば)は利用希望者が多く、全希望者を受け入れてきていない状況。また、増加したサービスメニューに対し施設の面積が不足していることから、建替えにより施設規模を拡大することが決まっている。

・民間の施設もあるが、参入するサービスに偏りがあるため、重度の障がい者向けのサービスを行政が担うなど、民間との役割分担が必要と考えられる。

・中新田に県の養護学校(小中高)が設置されるため、市外から転入する生徒が増え、対象者の増大につながる可能性がある。

NO	施設名	分類	貸室名	室面積	利用件数
1	わかば会館	会議室(汎用・洋室)	第1会議室	27.3 (㎡)	429 (件)
			第2会議室	42.9 (㎡)	557 (件)
			第3会議室	23.0 (㎡)	14 (件)
			多目的交流室	92.4 (㎡)	613 (件)
		実習室(特定用途)	工作室	68.6 (㎡)	523 (件)
		スポーツ施設	体育室	461.1 (㎡)	865 (件)

※利用件数は平成24年度の実績。

・わかば会館の貸室サービスを見ると、コミュニティセンター等と同様に、広めの体育室や多目的交流室の利用が多い。

【分類名】保健医療福祉施設

[利用状況]

◀ 高齢者福祉施設 ▶

NO	施設名	地域	施設面積 (㎡)	利用指標		利用数						増減の傾向			1日あたり 利用者数 (人/日)
				指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	5年平均	増加	なし	減少	
1	総合福祉会館	海西	1,677	利用者数	人	50,687	29,351	54,622	61,499	67,066	58,469	↑			160.6
2	国分寺台ケアセンター	大谷	642	利用者数	人	5,483	4,952	5,026	5,897	5,381	5,348		↑↓		14.7
3	高齢者生きがい会館	南部	515	利用者数	人	5,372	5,472	5,489	6,644	6,162	5,828		↑↓		16.0

※総合福祉会館は、平成23年度の利用者数がリニューアル工事の影響で減少していることから、平均値はH22及びH24～H26の4年間で算出している。

・総合福祉会館は、リニューアル工事後、利用者が年々増加している。

NO	施設名	分類	貸室名	室面積	利用者数
1	総合福祉会館	会議室(汎用・洋室)	第一娯楽室	139.8 (㎡)	9,979 (人)
			第二娯楽室	79.5 (㎡)	6,335 (人)
			第三娯楽室	70.0 (㎡)	6,104 (人)
			第一会議室	40.3 (㎡)	5,221 (人)
			第二会議室	40.3 (㎡)	4,852 (人)
			第三会議室	47.7 (㎡)	7,302 (人)
			第四会議室	45.6 (㎡)	5,911 (人)
		和室	第五会議室	24.5 (㎡)	2,299 (人)
			茶室	17.6 (㎡)	1,807 (人)
		実習室(特定用途)	ボランティアコーナー	48.7 (㎡)	2,318 (人)
視聴覚室	39.7 (㎡)		2,494 (人)		

- ・貸室サービスについて見ると、会議室よりも広く多目的に利用できる娯楽室の利用者が多い。
- ・利用者は福祉関係の登録団体であり、個人による利用はない。
- ・日中の稼働率は50～60%程度だが、高齢者や主婦が主な利用者であることから、夜間はほとんど使われていない。

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設整備 相当額(千円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/㎡)	利用あたり フルコスト (円)
1	医療センター	5,908	67,448	73,356	7,748	81,105	4,223	3,139
2	保健相談センター	30,200	260,203	290,403	17,994	308,397	8,899	4,922
3	柏ヶ谷保育園	9,329	106,413	115,742	21,229	136,971	2,434	1,158,806
4	下今泉保育園	687	96,139	96,826	1,806	98,632	2,108	1,174,187
5	中新田保育園	229	150,942	151,171	4,824	155,995	263	1,176,434
6	勝瀬保育園	648	90,941	91,589	2,404	93,993	1,493	1,593,098
7	門沢橋保育園	581	97,668	98,249	1,817	100,066	1,771	1,425,440
8	子育て支援センター	—	18,955	18,955	801	19,756	—	592
9	障害者第三デイサービスセンター (あきば)	1,909	6,217	8,126	3,214	11,340	3,290	1,818
10	障害者第二デイサービスセンター (かっぱ堂)	592	1,273	1,865	3,187	5,051	1,028	724
11	障害者第一デイサービスセンター (レインボードリーム)	1,118	2,392	3,510	2,979	6,489	2,079	920
12	わかば会館	1,920	7,392	9,312	6,746	16,058	1,577	507
13	わかば学園(わかば会館内)	385	740	1,125	4,997	6,122	426	29,068
14	わかばケアセンター(わかば会館内)	1,163	2,901	4,063	5,591	9,655	1,152	228,780
15	総合福祉会館	10,142	7,007	17,149	9,288	26,437	6,048	502
16	国分寺台ケアセンター	3,303	44,461	47,763	3,556	51,319	5,144	9,596
17	高齢者生きがい会館	2,852	3,713	6,565	2,855	9,420	5,532	1,616
合計		70,965	964,805	1,035,770	101,034	1,136,804	2,967	4,769

※公共施設白書作成時に調査した、H22～H24年度の実績に基づく。

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したものである。

※「利用あたりフルコスト」はにおいて、保育園、わかば学園、わかばケアセンターの3施設については、「登録者1人あたりフルコスト」となっている。

【分類名】産業振興施設

[施設・建物]

NO	施設名	地域	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	ライスセンター	大谷	ライスセンター	282	S62年度	28年
2	南部農業拠点施設	南部	南部農業拠点施設	238	H24年度	3年
施設面積の合計(m ²)⇒				520		

- ・ライスセンター：土地・建物は海老名市が保有。海老名市中部営農組合が市と土地建物使用貸借契約を締結し、組合事業として米の乾燥、農機具の共同利用等を行っている。
- ・南部農業拠点施設：米穀の乾燥・調製用の施設。乾燥機4台と籾摺機1台を設置するほか、貸出用の農機具（コンバイン、トラクター等）も配置している。

[利用状況]

NO	施設名	地域	施設面積(m ²)	利用指標		利用数						増減の傾向			1日あたり利用者数(人/日)
											5ヵ年平均	増加	なし	減少	
						指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度					
1	ライスセンター	大谷	282	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	南部農業拠点施設	南部	238	利用者数	人	-	-	46	40	51	46		↑ ↓		0.1

(ライスセンター)

- ・ライスセンターは、海老名市中部営農組合の運営であり、市では利用状況を把握していない。

(南部農業拠点施設)

- ・個人の農家を対象として利用を受け付けている。
- ・乾燥機の稼働はコメの収穫期の約1か月程度である。平成26年度の実績で、稼働日数:27日、乾燥機の稼働回数:54回であることから、乾燥機の稼働率は50%(=稼働実績:54回/稼働上限108回。稼働上限:108回=4基×27日。)

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費(千円)	事業運営費(千円)	①合計(千円)	②年あたり施設整備相当額(千円)	フルコスト(①+②)(千円)	面積あたり維持管理費(円/m ²)	利用あたりフルコスト(円)
1	ライスセンター	0	0	0	1,560	1,560	0	-
2	南部農業拠点施設	0	14,819	14,819	1,318	16,137	0	353,361
合計		0	14,819	14,819	2,878	17,697	0	387,521

※公共施設白書作成時に調査した、H22～H24年度の実績に基づく。

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したものの。

【分類名】環境施設

[施設・建物]

NO	施設名	地域	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	リサイクルプラザ	大谷	リサイクルプラザ	539	H13年度	14年
2	資源化センター	大谷	資源化センター(工場棟1)	697	H13年度	14年
3			資源化センター(工場棟2)	233	H13年度	14年
4			資源化センター(不燃物分別処理作業棟)	162	H14年度	13年
5	美化センター	南部	美化センター	728	H11年度	16年
6			美化センター車庫(塵芥車・し尿車)	665	S54年度	36年
施設面積の合計(m ²)⇒				3,024		

- ・リサイクルプラザ :リサイクルに関する啓発活動のほか、粗大ごみの再生、再生品の販売を行っている。
設置当初は指定管理者を導入していたが、より効率的な運営を図るため直営に変更した。
- ・資源化センター :委託業者が回収した資源物の中間処理を行っている。
- ・美化センター :直営で行っている可燃ごみ収集・運搬の車両基地。し尿の収集・運搬・処理もを行っている。
- ・ごみの焼却・処分については、「高座清掃施設組合」(海老名市、座間市、綾瀬市)に委託している。

[利用状況]

NO	施設名	地域	施設面積(m ²)	利用指標		利用数						増減の傾向			1日あたり利用者数(人/日)
						5ヵ年平均						増加	なし	減少	
						H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	5ヵ年平均				
1	リサイクルプラザ	大谷	539	来館者数	人	17,775	19,771	21,041	18,554	19,118	19,252		↑↓		52.9
2	資源化センター	大谷	1,469	稼働日数	日	309	314	312	309	309	311		↑↓		-
3	美化センター	南部	966	稼働日数	日	361	361	361	361	361	361		↑↓		-

(リサイクルプラザ)

- ・所管課においては、リサイクルに関する啓発に関しては概ね目的を果たせたとの認識。リサイクルの実施については民間事業者も取り組んでおり、施設のあり方を見直す必要があるとの認識。

(資源化センター)

- ・日曜、年末年始を除き稼働している。
- ・資源物の内訳をみると、鉄類・びん類は減少し、アルミ類・ペットボトルは増加、容器包装プラスチックは横ばい。
- ・ペットボトルの排出量が施設の処理能力を超えており、設備の更新や処理ラインの拡大が必要。
- ・ペットボトルの処理能力を上回る分は、外部に委託して処理を行っている。

(美化センター)

- ・年末年始を除き稼働している。
- ・可燃ごみの減量化、生活排水処理における水洗化に伴い、収集・運搬量は徐々に減少している。しかし、ごみ集積所の増加により収集時間が増加しており、収集車両の台数及び収集人員数は横ばいとなっている。
- ・現在、ごみ収集は無料であるが、有料化・戸別収集に移行した場合、現在の車両数と人員数では対応しきれず、民間に委託するなどの対応が必要になる。

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費(千円)	事業運営費(千円)	①合計(千円)	②年あたり施設整備相当額(千円)	フルコスト(①+②)(千円)	面積あたり維持管理費(円/㎡)	利用あたりフルコスト(円)
1	リサイクルプラザ	370	16,736	17,106	2,988	20,094	686	1,044
2	資源化センター	30,544	196,818	227,362	8,137	235,499	20,790	758,207
3	美化センター	4,549	269,335	273,884	5,350	279,234	4,709	773,502
合計		35,463	482,889	518,352	16,475	534,827	8,728	26,844

※公共施設白書作成時に調査した、H22～H24年度の実績に基づく。

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したもの。

【分類名】市営住宅

[施設・建物]

NO	施設名	地域	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	中新田住宅	海西	中新田住宅(A棟)	243	H9年度	18年
2			中新田住宅(B棟)	243	H9年度	18年
3	国分北三丁目市営住宅	国分	国分北三丁目市営住宅(A棟)	742	H5年度	22年
4			国分北三丁目市営住宅(B棟)	886	H5年度	22年
5	上河内住宅	南部	上河内住宅	2,070	H27年度	0年
6	ブランドールかしわ台	北部	ブランドールかしわ台	691	H23年度	4年
7	ルーミナス海老名	海西	ルーミナス海老名	1,246	H19年度	8年
8	パーシモンガーデン	国分	パーシモンガーデン	642	H21年度	6年
9	ニューフローラ	南部	ニューフローラ	608	H23年度	4年
施設面積の合計(m ²)⇒				7,371		

- ・老朽化が進んでいた「杉久保住宅」を廃止し、新たに「上河内住宅(35戸)」を整備した。
- ・直営:65戸(8戸、22戸、35戸)、借上げ:52戸(18戸、12戸、10戸、12戸)で、全117戸を供給。
- ・借上げ型の適用により、土地の新規取得なしで適切な場所に住宅を配置できた。なお、住宅の所有者とは20年間の賃貸借契約を結んでおり、トータルのコストで見れば、必ずしも直営より安価になるとは限らない。
- ・市内に県営住宅が510戸ある。計画上考慮しているが、整備にあたり、県と供給戸数の調整は行っていない。
- ・周辺他市では市営、県営のいずれも供給戸数が海老名市を上回る場合が多い。
(座間市…市営:325戸、県営:678戸 伊勢原市…市営:167戸、県営:828戸 等)

[利用状況]

- ・退去による一時的な空き室はあるが、ほぼ満室の状況。
- ・空き室が出ても、募集戸数を上回る応募があり抽選になる。
- ・子育て世帯を対象とした募集枠もあり、入居者の多様性は高い。
- ・H22から、5年間の期限付き入居としており、更新審査が確実に行われるようにしている。但し、制度導入以前の入居者については遡りでの制度適用は行っていない。

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費(千円)	事業運営費(千円)	①合計(千円)	②年あたり施設整備相当額(千円)	フルコスト(①+②)(千円)	面積あたり維持管理費(円/m ²)	利用あたりフルコスト(円)
1	国分北三丁目市営住宅	3,182	182	3,364	3,894	7,258	3,521	339,153
2	中新田住宅	520	12	532	4,864	5,396	460	710,032
3	上河内住宅	-	-	-	-	-	-	-
※	杉久保住宅	909	56	965	9,044	10,009	433	244,127
4	ルーミナス海老名	18,348	0	18,348	-	18,348	14,722	-
5	ブランドールかしわ台	5,070	0	5,070	-	5,070	7,343	-
6	パーシモンガーデン	10,800	0	10,800	-	10,800	16,822	-
7	ニューフローラ	4,470	0	4,470	-	4,470	7,350	-
合計		43,300	250	43,551	17,802	61,352	7,236	876,463

※公共施設白書作成時に調査した、H22～H24年度の実績に基づくため、廃止した「杉久保住宅」を含む。

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したものの。

- ・借上げ型住宅は、賃借料が発生するため維持管理費が大きくなっている。
- ・直営と借上げ型に係るコストを、建物整備に要したコスト(②年あたり施設整備相当額)を含めた「フルコスト」で比較すると、施設による差はあるものの、手法によるコストの違いは確認できない。

【分類名】その他施設

[施設・建物]

NO	施設名	地域	建物名	建物の施設面積(m ²)	建設年度	経過年数
1	海老名中央公園地下駐車場	国分	海老名中央公園地下駐車場	9,687	H6年度	21年
2	かしわ台駅自転車等置場	北部	※建物なし(区画線)		-	
3	海老名駅西口第1有料自転車駐車場	海西	※建物なし(駐輪ラック)		-	
4	海老名駅西口第2有料自転車・原動機付自転車駐車場	海西	※建物なし(駐輪ラック)		-	
5	海老名駅西口第3有料自転車・原動機付自転車駐車場	海西	※建物なし(駐輪ラック)		-	
6	海老名駅西口第4有料自転車・原動機付自転車駐車場	海西	※建物なし(駐輪ラック)		-	
7	海老名駅東口立体有料自転車駐車場	国分	海老名駅東口立体自転車駐車場	204	H15年度	12年
8	海老名駅東口第2有料自転車駐車場	国分	※建物なし(駐輪ラック)		-	
9	海老名駅東口第3有料自転車駐車場	国分	※建物なし(駐輪ラック)		-	
10	社家駅自転車等置場	南部	※建物なし(区画線)		-	
11	門沢橋駅西側自転車等置場	南部	※建物なし(区画線)		-	
12	門沢橋駅東側自転車等置場	南部	※建物なし(区画線)		-	
13	北部大型防災備蓄倉庫	北部	北部大型防災備蓄倉庫	280	H23年度	4年
14	中部大型防災備蓄倉庫	大谷	中部大型防災備蓄倉庫	288	H24年度	3年
15	南部大型防災備蓄倉庫	南部	南部大型防災備蓄倉庫	280	H25年度	2年
16	さがみ野安全安心ステーション	東柏ヶ谷	さがみ野安全安心ステーション	22	H19年度	8年
17	消費生活センター	国分	(市庁舎内)	46	S63年度	27年
施設面積の合計(m ²)→				10,806		

- ・海老名駅中央公園地下駐車場：駅周辺の路上駐車を解消することを目的に整備し、収容台数は197台。
送迎車両が駅前広場に集中しないよう、15分間の無料駐車サービスを実施している。
管理運営は指定管理者が実施している。
- ・自転車駐車場、自転車等置場：建物があるのは「海老名駅東口立体自転車駐車場のみ。他の施設は、敷地に駐輪ラックを設置するか、区画線を引いただけである。
- ・大型防災備蓄倉庫：公共施設に設置する避難所への避難者向けの備蓄。想定対象者数は44,760人。
現時点で、食糧：3食2日分、毛布：約80%を備蓄している。
- ・さがみ野安全安心ステーション：さがみ野駅前に交番が設置されていないため、地域案内、防犯相談対応、地域巡回活動の拠点として設置。県に対しては駅前交番の設置を要望している。
- ・消費生活センター：消費生活に関する相談対応(電話、窓口)を行う施設。消費生活センターの所長として市職員(兼任)を配置する必要があることと、市民相談室との連携が必要な相談も多いことから市庁舎内に設置。

[利用状況]

NO	施設名	地域	施設面積(m ²)	利用指標	利用数						増減の傾向			1日あたり利用数	
					指標名	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	5年平均	増加		なし
1	海老名中央公園地下駐車場	国分	9,687	入出庫台数	台	192,410	171,756	170,625	176,290	177,458	177,708		↑↓		488.2
2	かしわ台駅自転車等置場	北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	海老名駅西口第1有料自転車駐車場	海西	-	契約台数	台	5,474	5,782	6,072	6,648	7,010	6,197	↑			-
4	海老名駅西口第2有料自転車・原動機付自転車駐車場	海西	-	契約台数	台	3,595	3,742	3,427	3,489	3,545	3,560		↑↓		-
5	海老名駅西口第3有料自転車・原動機付自転車駐車場	海西	-	契約台数	台	3,152	3,046	2,884	2,917	3,024	3,005		↑↓		-
6	海老名駅西口第4有料自転車・原動機付自転車駐車場	海西	-	契約台数	台	1,121	1,755	2,003	2,640	2,313	1,966		↑↓		-
7	海老名駅東口立体有料自転車駐車場	国分	204	契約台数	台	6,403	6,443	8,006	8,133	8,064	7,410		↑↓		-
8	海老名駅東口第2有料自転車駐車場	国分	-	契約台数	台	16,347	16,903	16,293	13,935	14,223	15,540		↑↓		-
9	海老名駅東口第3有料自転車駐車場	国分	-	契約台数	台	6,604	7,444	6,844	5,921	5,459	6,454		↑↓		-
10	社家駅自転車等置場	南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	門沢橋駅西側自転車等置場	南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	門沢橋駅東側自転車等置場	南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	北部大型防災備蓄倉庫	北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	中部大型防災備蓄倉庫	大谷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	南部大型防災備蓄倉庫	南部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	さがみ野安全安心ステーション	東柏ヶ谷	22	来所者数	人	2,759	3,492	4,043	4,280	4,585	3,832	↑			10.5
17	消費生活センター	国分	46	来所者数	組	-	-	-	241	272	257	↑			0.7

- ・海老名駅中央公園地下駐車場：1日あたり利用者数は488台/日。収容台数197台の2.5倍、1日あたり2.5回転。
- ・自転車駐車場、自転車等置場：海老名駅周辺における契約台数の合計は44,132台。他の駅は契約制でなく利用数は把握できない

【分類名】その他施設

[コスト状況]

NO	施設名	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	①合計 (千円)	②年あたり施設 整備相当額(千 円)	フルコスト (①+②) (千円)	面積あたり維持 管理費(円/m)	利用あたり フルコスト (円)
1	海老名中央公園地下駐車場	42,005	19,200	61,205	53,651	114,856	4,336	646
2	かしわ台駅自転車等置場	68	2,899	2,966	-	2,966	-	-
3	海老名駅西口第1有料自転車駐車場	-	-	-	-	-	-	-
4	海老名駅西口第2有料自転車 ・原動機付自転車駐車場	-	-	-	-	-	-	-
5	海老名駅西口第3有料自転車 ・原動機付自転車駐車場	-	-	-	-	-	-	-
6	海老名駅西口第4有料自転車 ・原動機付自転車駐車場	-	-	-	-	-	-	-
7	海老名駅東口立体有料自転車駐車場	12,059	50,403	62,462	1,130	63,592	59,120	8,582
8	海老名駅東口第2有料自転車駐車場	-	-	-	-	-	-	-
9	海老名駅東口第3有料自転車駐車場	-	-	-	-	-	-	-
10	社家駅自転車等置場	-	1,627	1,627	-	1,627	-	-
11	門沢橋駅西側自転車等置場	-	-	-	-	-	-	-
12	門沢橋駅東側自転車等置場	-	-	-	-	-	-	-
13	北部大型防災備蓄倉庫	0	8,056	8,056	1,551	9,607	0	-
14	中部大型防災備蓄倉庫	0	8,041	8,041	1,592	9,633	0	-
15	南部大型防災備蓄倉庫	-	-	-	1,551	1,551	-	-
16	さがみ野安全安心ステーション	55	230	285	122	407	2,500	92
17	消費生活センター	-	11,725	11,725	253	11,978	-	46,700
	合計	54,187	102,181	156,368	59,850	216,218	13,191	-

※公共施設白書作成時に調査した、H22～H24年度の実績に基づく。

※「②年あたり施設整備相当額」は、施設面積に標準工事単価を乗じて「施設整備費」を算定し、耐用年数を65年として年あたりの額に換算したものの。

公共施設のあり方に関する市民アンケート(中間報告)について

● 概要

(1) 目的

「(仮称)海老名市公共施設再編計画」の策定にあたり、公共施設の利用実態や公共施設の今後のあり方に関する市民の意見を把握すること。

(2) 調査の方法

18歳以上の無作為抽出の市民 3,000 人を対象に、郵送配布・郵送回収。

(3) 調査項目

- | | |
|----------------|--------------------|
| ①ご自身のことについて | ②日常的な活動について |
| ③公共施設の利用状況について | ④これからの公共施設のあり方について |

(4) 回収結果

有効回収数：1,109 票（回収率 37.0%）

● 各設問に関する回答の概要または傾向

(1) ご自身のことについて

Q1-1 回答者の年齢【報告書該当頁：2】

⇒実際の年齢構成と比較すると、30歳未満は少なく、65歳以上が特に多くなっていると思われる（65歳以上が回答者の約40%を占めている。）。

Q1-2 回答者の性別【報告書該当頁：2】

⇒回答者の性別は、「男性」が46.3%、「女性」が53.4%で、女性が若干多い。

Q1-3 回答者の居住地域【報告書該当頁：3】

⇒白書で整理した6地域における実際の人口分布と大きなかい離はないと思われる。

Q1-4 回答者の世帯おける子どもの有無【報告書該当頁：3】

⇒「乳幼児、小学校入学前の子どもがいる」が13.2%、「小学校、中学校、高校に通っている子どもがいる」が18.9%で、全体の約3割となっている。

Q1-5 回答者の世帯における高齢者の有無【報告書該当頁：4】

⇒「介護が必要な高齢者がいる」が8.5%、「介護を必要としない高齢者がいる」が41.2%で、全体のほぼ50%となっている。

(2) 日常的な活動について

Q2-1 公共施設を利用する場合の時間的な制約の有無【報告書該当頁：5】

⇒「特に制約がない」が46.4%に対し、「制約がある」が51.9%で若干多い。

Q2-2 日常的な活動における行動範囲【報告書該当頁：6】

⇒「自宅周辺」、「海老名市内」、「海老名市外」がほぼ同数となっている。

Q2-3 日常的に活動する場合の交通手段【報告書該当頁：6】

⇒「自動車や二輪車」が約50%、「公共交通機関」と「徒歩・自転車」が各25%。

(3) 公共施設の利用状況について

Q3-1 施設分類別に見た利用頻度【報告書該当頁：7】

⇒全般に「利用していない」の占める割合が大きい。最も一般的な利用頻度が高いのは、「図書館」だが、それでも約6割程度の利用であり、他の施設分類について見ると、比較的利用の多い「コミュニティセンター・文化センター」及び「文化会館」で約4割程度、残る施設では概ね1割～2割程度の利用に留まっている。

Q3-2 公共施設を利用している場合の理由（上位3つまで）【報告書該当頁：8】

⇒1番目の理由に、「目的とする活動の会場として指定されている」が挙がる施設分類が多いが、スポーツ系施設については「料金等の費用負担がすくない」が挙がっている。また、選択順位にバラつきはあるものの、1つの施設分類を除き「家から行きやすい」が理由として選ばれている。

Q3-3 公共施設を利用していない場合の理由（上位3つまで）【報告書該当頁：9】

⇒全ての施設分類で、「利用する用事がない」が1位となっているが、2番目の理由に「施設のことをよく知らない」が挙がる施設も多い。なお、スポーツ系施設と図書館については、2番目の理由として「利用する時間が無い」が挙がっている。

(4) これからの公共施設のあり方について

Q4 今後の公共施設の取り扱いの方向性【報告書該当頁：10】

⇒概ね4分の3が“公共施設にかかるコストを減らす”方向性の回答を選択している。

Q5 公共施設にかかるコストを減らす方法（望ましい順に3つまで）

【報告書該当頁：11】

⇒最も望ましい方法として「利用が少ない施設の廃止を推進」が多く選ばれている。次いで、選択の順番に関わらず、施設規模の縮小を図るための方法が選ばれている。

Q6 大規模改修や更新の優先度（必要性）【報告書該当頁：12、13】

⇒回答を評点化してランキングすると、市民生活の安心を支える「医療センター」と「子育て支援センター」や、市民の教養や趣味に関する「図書館」、「文化会館」について優先度が高いと考える市民が多いと思われます。

Q7 施設に係るコスト負担のあり方【報告書該当頁：14】

⇒福祉目的で設置されている施設を除き、施設に係るコストについては「利用料等による負担」を重視すべきと考える市民が多いと思われる。

● 全体としての考察（注目すべきポイント）

【公共施設の利用状況について】

- ・今後の議論の前提として、公共施設の利用者は、市民全体として見れば少数派である点には留意が必要である。

【これからの公共施設のあり方について】

- ・公共施設について、総量削減を含めた見直しが必要との問題認識については、総論として賛同する声が大部分を占める。
- ・公共施設に係るコストについて、市においては、利用料等による負担を求めていく考えを『公共施設等に関する基本方針』（H26年9月）として示しているが、総論として賛同する声が大部分を占める。

以上

※なお、本件は中間報告であり、最終報告は、詳細の分析作業を行った上で、提示予定。

海老名市
公共施設のあり方に関する
市民アンケート

【中間報告】

—平成 28 年 2 月 15 日版—

I 調査の概要

1. 調査の目的

「(仮称)海老名市公共施設再編計画」の策定にあたり、公共施設の利用実態や公共施設の今後のあり方に関する市民の意見を把握することを目的に実施したものである。

2. 調査の方法

- ①調査対象 海老名市に居住する 18 歳以上の市民
- ②対象者数 3,000 人
- ③抽出方法 住民基本台帳（平成 27 年 12 月 1 日時点）から無作為抽出
- ④調査方法 郵送配布、郵送回収
- ⑤調査期間 平成 28 年 1 月 8 日から 1 月 22 日

3. 調査項目

- ①ご自身のことについて
- ②日常的な活動について
- ③公共施設の利用状況について
- ④これからの公共施設のあり方について

4. 回収結果

- ①配布数 3,000 票
- ②有効回収数 1,109 票
- ③有効回収率 37.0%

5. 報告書の見方

- ①集計について
 - ・図表中の (n=* (*は自然数)) と属性の後の () 内は、集計母数を表している。
 - ・回答割合 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。そのため、回答割合の合計が 100.0%にならない場合がある。

Ⅱ 調査結果

1. ご自身のことについて

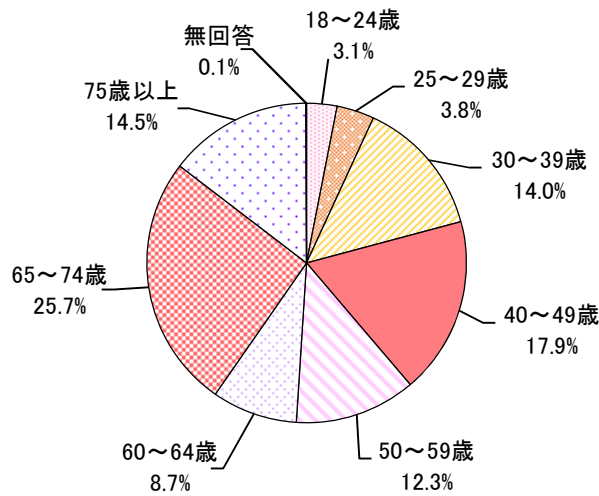
Q1-1 あなたの年齢はお幾つですか。

【全体の回答傾向】

- ・回答者 1,109 人のうち、年齢については、「65～74 歳」が 25.7%と最も多く、次いで「40～49 歳」(17.9%)、「75 歳以上」(14.5%)、「30～39 歳」(14.0%) となっています。

Q1-1 年齢

n=1,109



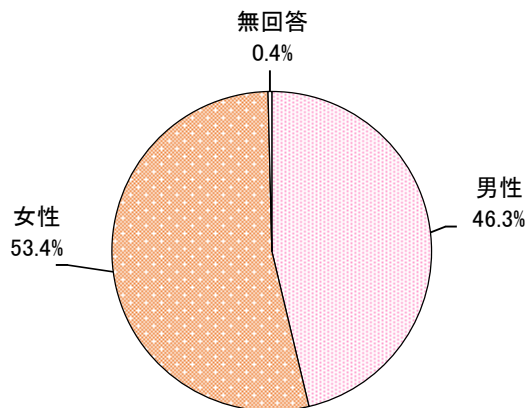
Q1-2 あなたの性別はどちらですか。

【全体の回答傾向】

- ・性別については、「男性」が 46.3%、「女性」が 53.4%となっています。

Q1-2 性別

n=1,109

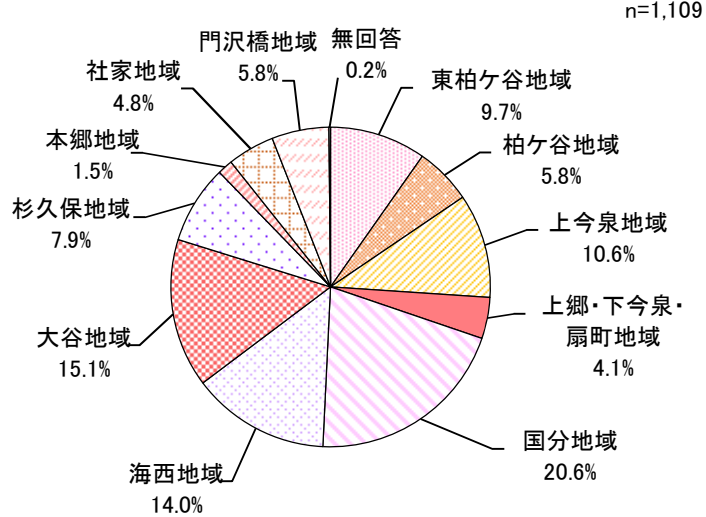


Q1-3 あなたがお住まいの場所は、どちらの地域になりますか。

【全体の回答傾向】

- ・居住地域については、「国分地域」が20.6%と最も多く、次いで「大谷地域」(15.1%)、「海西地域」(14.0%)、「上今泉地域」(10.6%)となっています。

Q1-3 居住地域

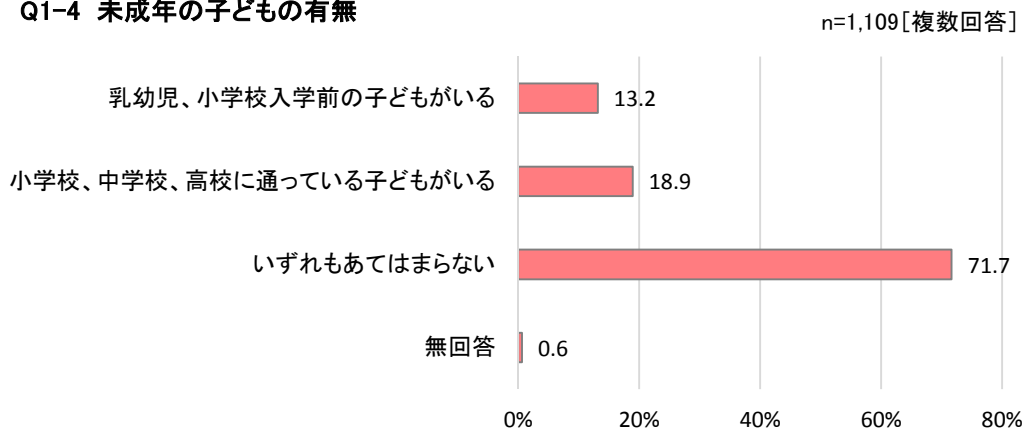


Q1-4 あなたの世帯に未成年のお子様がいっぱいますか。(あてはまるもの全て回答)

【全体の回答傾向】

- ・回答者の世帯における未成年の子どもの有無については、「乳幼児、小学校入学前の子どもがいる」が13.2%、「小学校、中学校、高校に通っている子どもがいる」が18.9%、「いずれもあてはまらない」が71.7%となっています。

Q1-4 未成年の子どもの有無



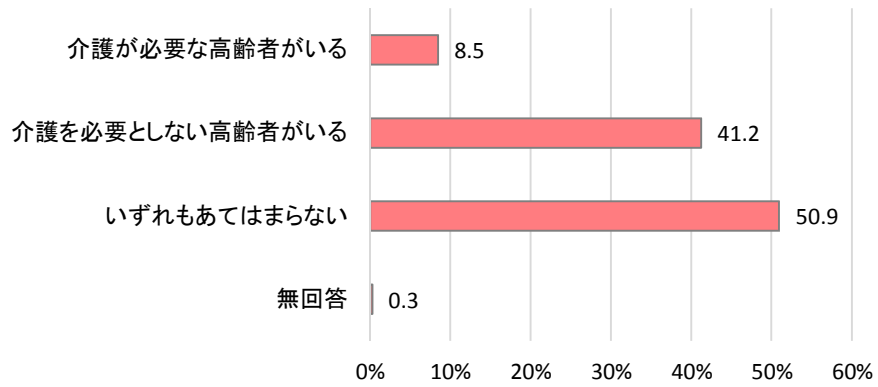
Q1-5 あなたの世帯に高齢の方がいらっしゃいますか。(あてはまるもの全て回答)

【全体の回答傾向】

- ・回答者の世帯における高齢者の有無については、「介護が必要な高齢者がいる」が8.5%、「介護を必要としない高齢者がいる」が41.2%、「いずれもあてはまらない」が50.9%となっています。

Q1-5 高齢者の有無

n=1,109[複数回答]



2. 日常的な活動について

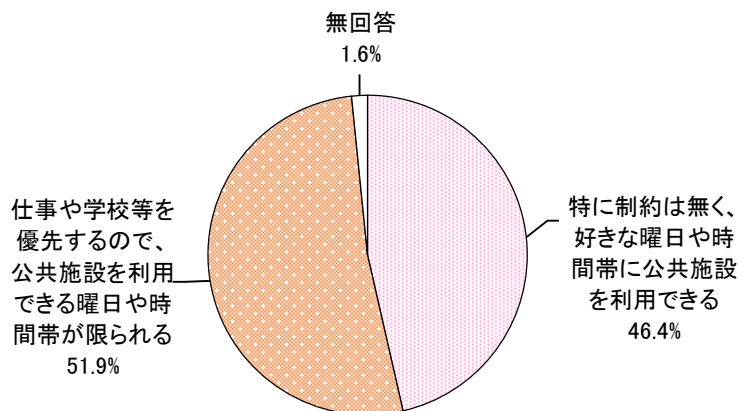
Q2-1 あなたが公共施設を利用しようとする場合、曜日や時間帯の制約はありますか。

【全体の回答傾向】

- ・公共施設利用の制約については、「特に制約は無く、好きな曜日や時間帯に公共施設を利用できる」が46.4%、「仕事や学校等を優先するので、公共施設を利用できる曜日や時間帯が限られる」が51.9%となっています。

Q2-1 公共施設利用の制約

n=1,109



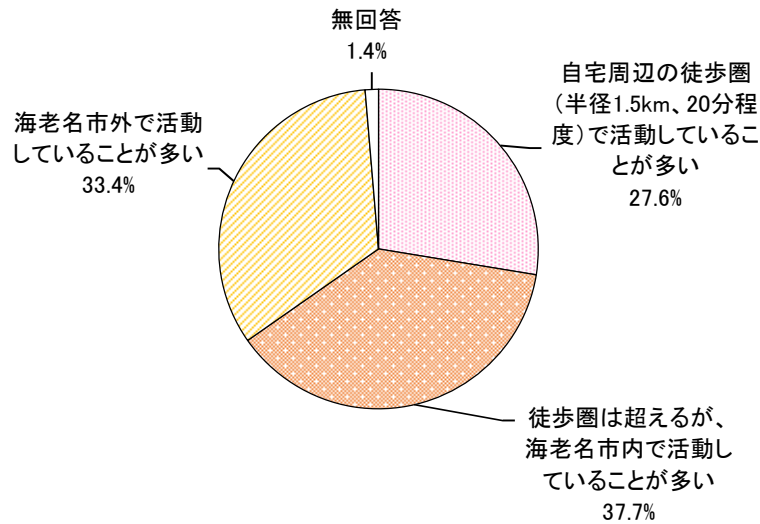
Q2-2 あなたの日常的な活動範囲はどのくらいの範囲ですか。

【全体の回答傾向】

- ・日常的な活動範囲については、「徒歩圏は超えるが、海老名市内で活動していることが多い」が 37.7% と最も多く、次いで「海老名市外で活動していることが多い」(33.4%)、「自宅周辺の徒歩圏（半径 1.5km、20 分程度）で活動していることが多い」(27.6%) となっています。

Q2-2 日常的な活動範囲

n=1,109



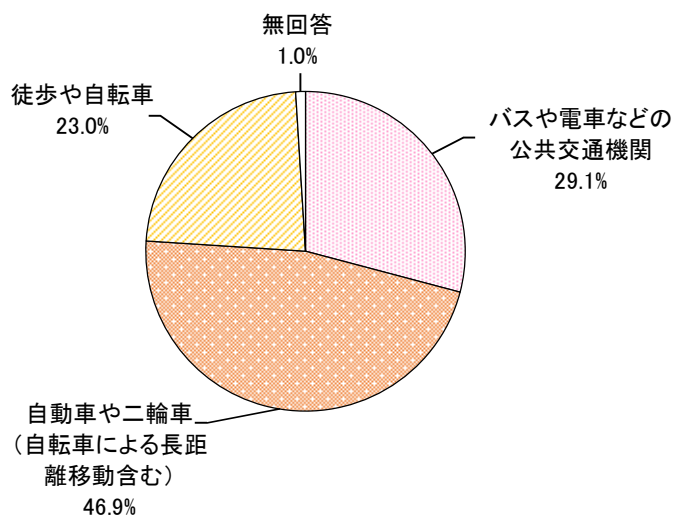
Q2-3 あなたが日常的に活動する場合には、主にどのような交通手段を利用していますか。

【全体の回答傾向】

- ・日常的な交通手段については、「自動車や二輪車（自転車による長距離移動含む）」が 46.9% と最も多く、次いで「バスや電車などの公共交通機関」(29.1%)、「徒歩や自転車」(23.0%) となっています。

Q2-3 日常的な交通手段

n=1,109



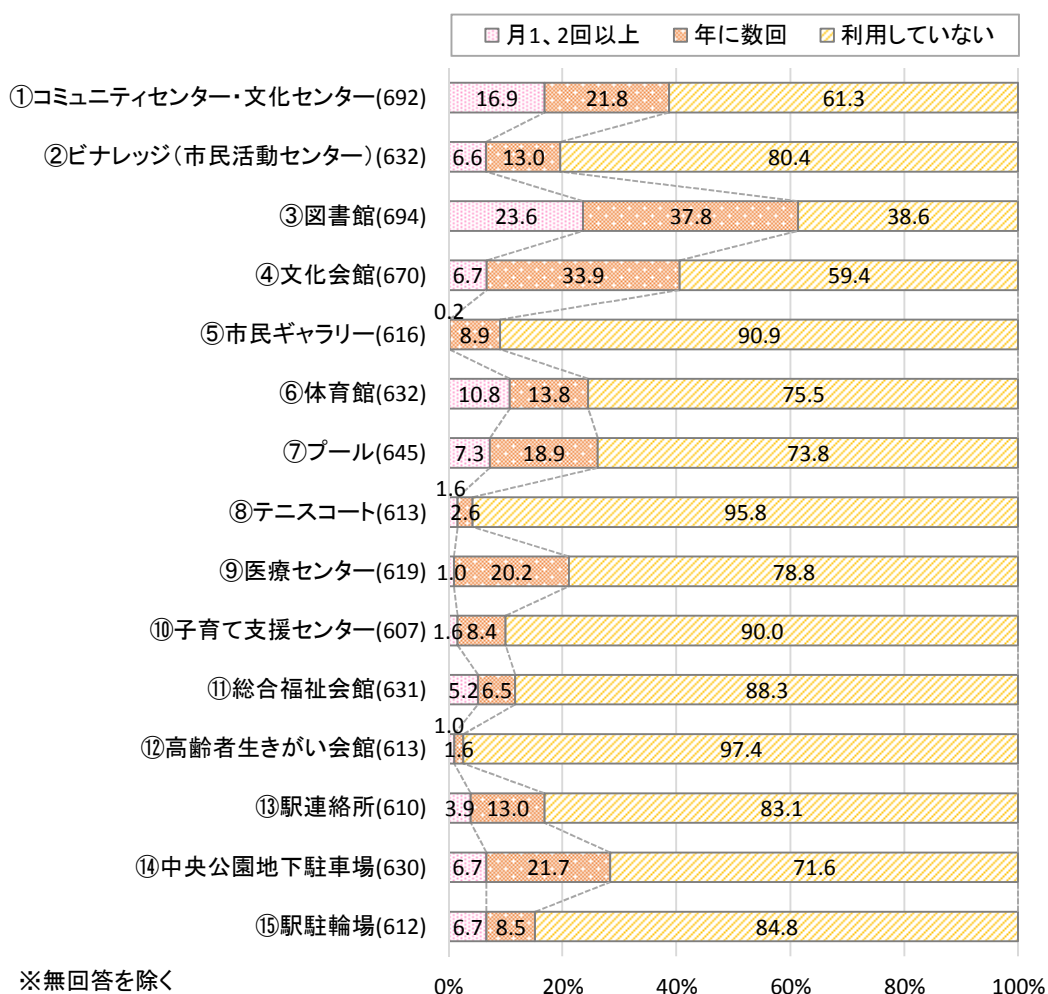
3. 公共施設の利用状況について

Q3-1 各施設の利用頻度はどの程度ですか。

【全体の回答傾向】

- ・各施設の利用頻度については、全般に「利用していない」の割合が大きくなっています。
- ・「年に数回」以上の利用について見ると、最も多い「図書館」で約6割となっていますが、他の施設分類では、比較的利用の多い「コミュニティセンター・文化センター」及び「文化会館」でも約4割程度、残る施設では1割～2割に留まっています。
- ・施設を利用しているとの回答の中でも、「月1、2回以上」と頻繁に利用する回答者は限られており、最も多い「図書館」で23.6%、「コミュニティセンター・文化センター」で16.9%となっていますが、他の施設では概ね10%以下に留まっています。

Q3-1 公共施設の利用頻度【3区分】



<Q3-1で「ほぼ毎日～週に数回」「週に1、2回」「月に1、2回」「年に数回」「年に1、2回」を選択した施設について伺います。>

Q3-2 各施設を“利用している”理由は何ですか。(施設ごとにあてはまるもの全て回答)

【全体の回答傾向】

- ・各施設を利用している理由については、コミュニティセンター・文化センターなどの市民活動の場として機能する施設や、医療センターなどの特定の目的を持つ施設については、「目的とする活動の会場として指定されている」を1番目に挙げる回答が多くなっています。
- ・一方、スポーツ系施設は、「料金等の費用負担がすくない」の回答が1番目になっています。
- ・総合福祉会館を除く全ての施設分類で、選択順位にバラつきはあるものの、「家から行きやすい」が理由として選ばれています。

Q3-2 各施設を利用している理由[複数回答]

(単位:%)

1位 2位 3位 ※無回答は順位から除く

	施設に 他種 のサ ービ ス提 供し てい る	指 定 さ れ た 活 動 の 会 場 と し て	家 か ら 行 き や す い	出 か け た つ い で に 行 き や す い	料 金 等 の 費 用 負 担 が 少 な い	サ ー ビ ス の 質 や 内 容 が 良 い	他 の 施 設 に 比 べ て	受 付 の 応 対 が 良 い	他 の 施 設 に 比 べ て	建 物 や 設 備 が 良 い	他 の 施 設 に 比 べ て	無 回 答
①コミュニティセンター・文化センター(268)	7.8	60.8	35.4	4.9	23.1	3.7	6.0	4.9	7.1			
②ビナレッジ(市民活動センター)(124)	5.6	54.0	25.0	4.8	19.4	4.8	4.8	15.3	8.9			
③図書館(426)	29.6	9.6	34.3	17.6	27.2	7.0	2.1	16.2	8.0			
④文化会館(272)	10.3	66.5	14.0	4.0	9.9	2.9	1.8	4.4	8.5			
⑤市民ギャラリー(56)	10.7	48.2	12.5	17.9	10.7	1.8	0.0	5.4	14.3			
⑥体育館(155)	11.6	36.8	33.5	5.8	38.1	5.2	4.5	8.4	5.8			
⑦プール(169)	10.1	11.2	45.0	0.6	49.1	5.3	1.8	10.7	7.7			
⑧テニスコート(26)	23.1	23.1	34.6	0.0	42.3	7.7	0.0	7.7	3.8			
⑨医療センター(131)	30.5	40.5	21.4	1.5	7.6	3.1	2.3	0.8	11.5			
⑩子育て支援センター(61)	26.2	73.8	14.8	1.6	14.8	0.0	0.0	0.0	3.3			
⑪総合福祉会館(74)	10.8	73.0	9.5	6.8	18.9	0.0	4.1	2.7	9.5			
⑫高齢者生きがい会館(16)	12.5	50.0	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	25.0			
⑬駅連絡所(103)	16.5	5.8	31.1	52.4	1.9	1.0	1.0	1.0	9.7			
⑭中央公園地下駐車場(179)	6.7	7.8	16.2	38.5	26.3	4.5	1.7	6.7	16.2			
⑮駅駐輪場(93)	11.8	5.4	29.0	31.2	32.3	5.4	3.2	2.2	10.8			

<Q3-1で「利用していない」を選択した施設について伺います。>

Q3-3 各施設を“利用していない”理由は何ですか。(施設ごとにあてはまるもの全て回答)

【全体の回答傾向】

- ・各施設を利用していない理由については、全ての施設について「利用する用事がない」が最も多くなっており、公共施設を必要としていない市民が多数を占めている状況がうかがえます。
- ・一方で、「施設のことをよく知らない」が第2位となっている施設が多く、施設でできることやイベント情報等が伝わっていないため、市民ニーズが埋もれている可能性もあります。
- ・図書館やスポーツ系施設は「仕事や学校等で施設を利用する時間がない」が第2位となっており、潜在的な利用意向が比較的高い施設とみることができます。

Q3-3 各施設を利用していない理由[複数回答]

(単位:%)

1位 2位 3位 ※無回答は順位から除く

	利用する用事がない	施設のことをよく知らない	近くに施設がない	利用料が高い	建物が古い	使いたい曜日や時間帯は混んでいる	仕事や学校等で施設を利用する時間がない	イベントあるサービスや魅力がある	他の民間施設等を利用している	無回答
①コミュニティセンター・文化センター(424)	79.5	17.9	3.1	0.2	0.2	0.2	10.6	5.4	0.9	4.0
②ビナレッジ(市民活動センター)(508)	70.7	28.7	4.9	0.4	0.0	0.2	9.8	2.4	0.8	4.3
③図書館(268)	62.3	8.2	11.6	0.4	0.0	5.2	17.9	3.0	4.1	4.9
④文化会館(398)	77.9	12.3	2.8	0.0	0.0	0.3	9.8	9.0	0.5	3.5
⑤市民ギャラリー(560)	77.7	22.7	2.9	0.0	0.0	0.2	7.5	4.6	0.4	3.8
⑥体育館(477)	73.4	7.1	6.1	0.8	0.0	3.1	12.6	2.9	3.6	4.8
⑦プール(476)	73.3	6.9	6.9	1.1	0.4	2.1	13.2	1.9	4.2	4.0
⑧テニスコート(587)	82.8	6.8	3.9	0.7	0.0	2.2	8.5	1.4	1.9	3.9
⑨医療センター(488)	75.0	20.9	3.9	0.0	0.0	0.4	5.1	0.6	2.7	4.1
⑩子育て支援センター(546)	87.2	9.9	1.5	0.0	0.0	0.0	5.1	1.3	0.4	3.7
⑪総合福祉会館(557)	83.3	20.6	2.3	0.0	0.0	0.0	5.4	1.6	0.2	3.1
⑫高齢者生きがい会館(597)	85.4	17.3	2.0	0.0	0.0	0.0	4.9	1.7	0.2	3.0
⑬駅連絡所(507)	78.5	21.1	1.4	0.2	0.0	0.4	5.1	1.4	0.6	3.6
⑭中央公園地下駐車場(451)	76.9	5.3	1.6	6.9	0.0	0.7	5.3	1.6	10.9	4.0
⑮駅駐輪場(519)	86.5	6.2	1.5	1.5	0.0	1.0	4.8	1.0	3.1	3.5

4. これからの公共施設のあり方について

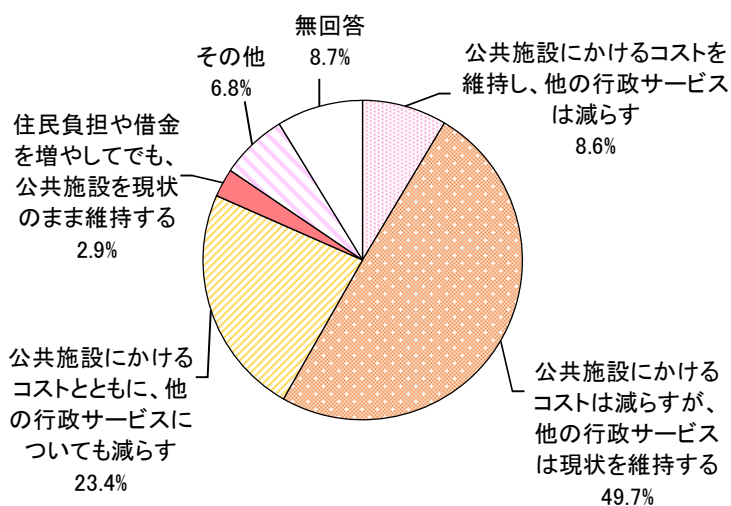
Q4 海老名市における公共施設の状況を踏まえて、今後の公共施設の取り扱いはどのようにすべきと考えますか。

【全体の回答傾向】

- ・ 今後の公共施設の取り扱いについては、「公共施設にかかるコストは減らすが、他の行政サービスは現状を維持する」(49.7%) が最も多く、次いで「公共施設にかかるコストとともに、他の行政サービスについても減らす」(23.4%) となっており、概ね4分の3が“公共施設にかかるコストを減らす”方向性の回答を選択している。
- ・ その他の回答では、「公共施設にかかるコストを維持し、他の行政サービスは減らす」が8.6%となっていますが、「住民負担や借金を増やしてでも、公共施設を現状のまま維持する」についてはは2.9%にとどまり、今後の取り扱いとして支持されていません。

Q4 今後の公共施設の取り扱い

n=1,109

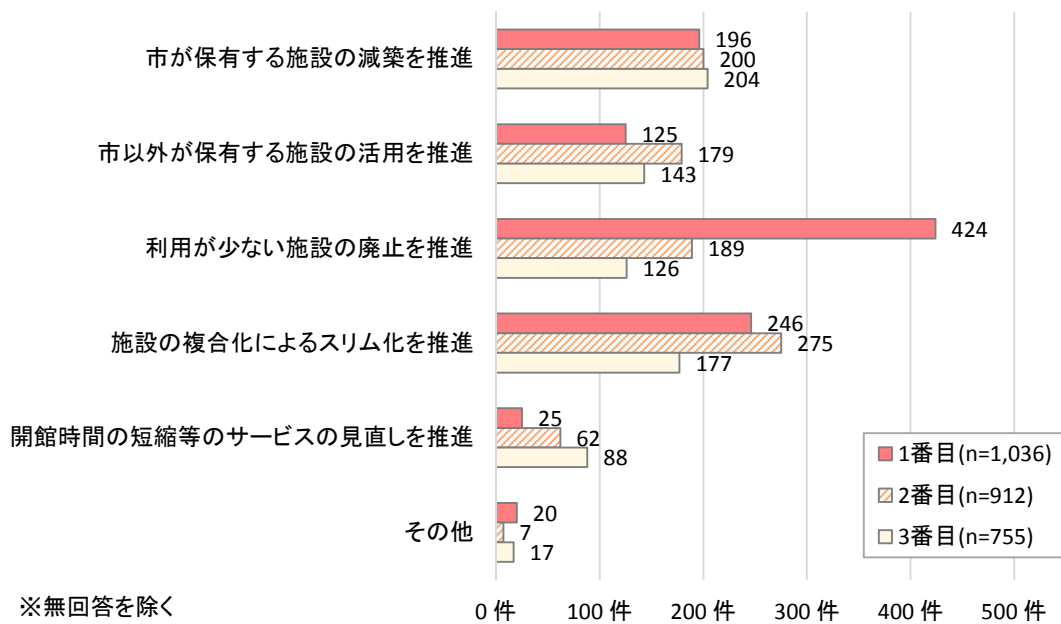


Q5 公共施設にかかるコストを減らす方法として、以下のような方法が考えられますが、どれが望ましいと考えますか。(最も望ましいと考える方法から順番に最大3つまで回答)

【全体の回答傾向】

- ・公共施設にかかるコスト削減方法については、最も望ましいとして「利用が少ない施設の廃止を推進」が多く選ばれています。
- ・次いで、選択の順番に関わらず、「施設の複合化によるスリム化を推進」、「市が保有する施設の減築を推進」との回答が多く、施設規模の縮小を図る方法が選ばれています。

Q5 公共施設にかかるコスト削減方法



Q6 財政的な余力がなくなっていく中で、今後は、大規模改修や更新（建替）を行う施設の優先度をつけていくことが重要となってきます。そこで、現在、対象を限定せずに利用されている公共施設について、あなたの考える優先度（必要性）をお答えください。

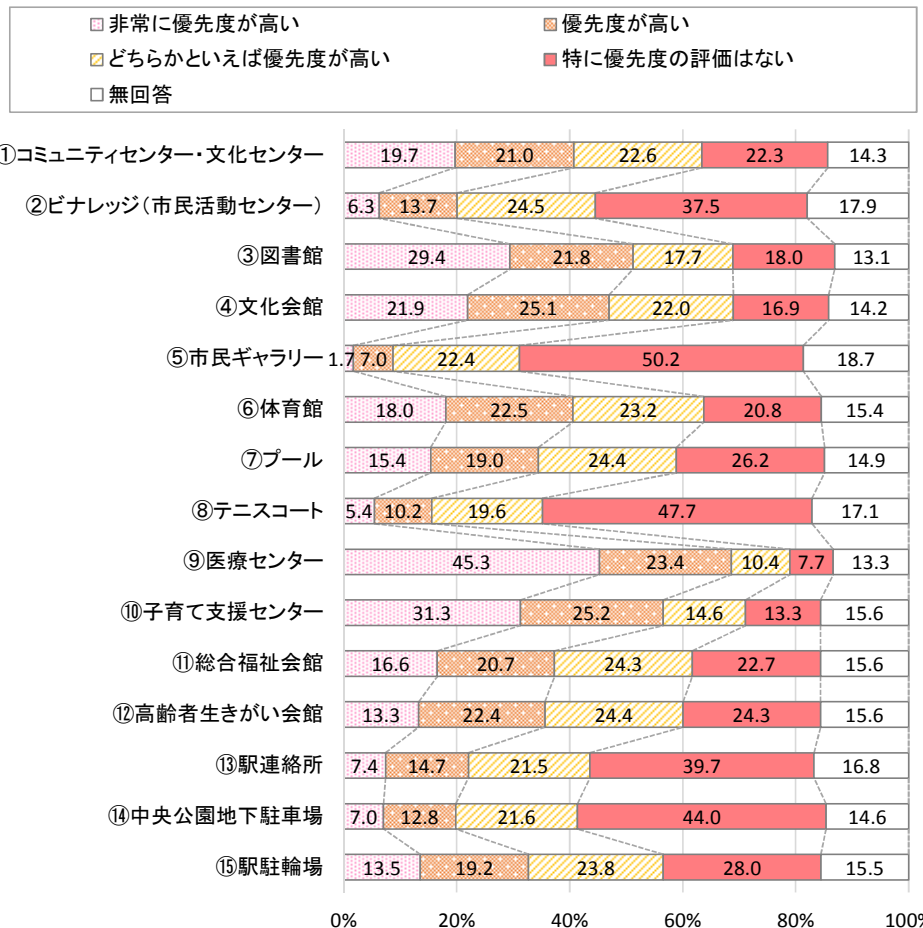
【全体の回答傾向】

・公共施設の優先度に関する回答の傾向を見ると、無回答を除く回答者の中で、“優先度が高い”（「非常に優先度が高い」「優先度が高い」「どちらかといえば優先度が高い」の合計）の割合が過半数を超えている施設とそうでない施設で大きく二つに分類されます。

“優先度が高い”との回答が多い施設	“優先度が高い”との回答が少ない施設
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター、文化センター ・図書館 ・文化会館 ・体育館 ・プール ・医療センター ・子育て支援センター ・総合福祉会館 ・高齢者生きがい会館 ・駅前輪場 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビナレッジ（市民活動センター） ・市民ギャラリー ・テニスコート ・駅連絡所 ・中央公園地下駐車場

Q6 公共施設の優先度

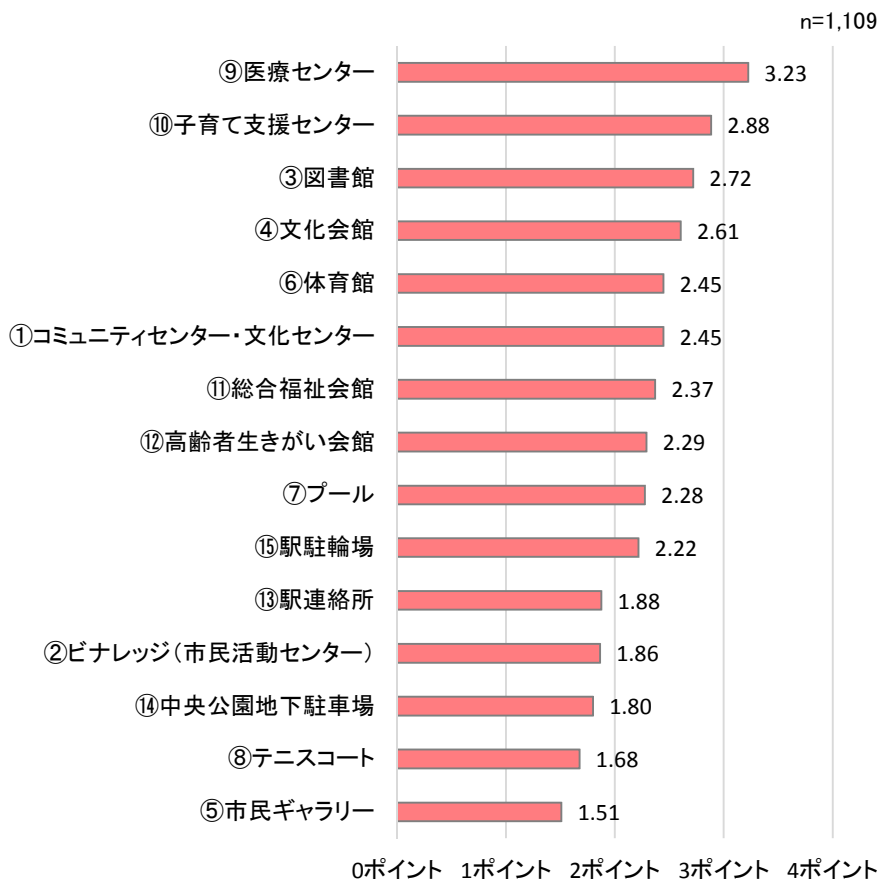
n=1,109



【参考：優先度のランキング】

- ・各選択肢について、「非常に優先度が高い」を4ポイント、「優先度が高い」を3ポイント、「どちらかというと優先度が高い」を2ポイント、「特に優先度の評価はない」を1ポイントとして総合ポイントを算出して優先度のランキングを行いました。
- ・総合ポイントを見ると、「医療センター」が第1位、「子育て支援センター」が第2位となっており、市民生活の安心を支える健康や子育てに関する施設が最も優先度が高くなっています。以下、市民の教養や趣味に関する「図書館」、「文化会館」が続いています。

Q6 公共施設の優先度【加重平均】



Q7 市の施設に係るコスト負担のあり方について、どのような方法が望ましいと考えますか。

【全体の回答傾向】

- ・公共施設にかかるコスト負担のあり方については、「税金による負担に重点を置く」施設（「税金」で全て負担」と「両方だが「税金」の負担を増やす」の合計）と「使用料等による負担に重点を置く」施設（「使用料等」で全て負担」と「両方だが「使用料等」の負担を増やす」の合計）の大きく二つに分類されます。一覧は以下のとおりです。

“税金による負担に重点を置く”施設	“使用料等による負担に重点を置く”施設
<ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉会館 ・高齢者生きがい会館 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター、文化センター ・ビナレッジ（市民活動センター） ・公共施設附帯の貸室 ・文化会館 ・市民ギャラリー ・体育館 ・プール ・テニスコート ・中央公園地下駐車場 ・駅駐輪場

Q7 公共施設にかかるコスト負担のあり方

n=1,109

